

# 東京外国語大学 留学生支援の会

No.58  
年3回発行

Since 1999

## 会報

秋のバザー開催／9月18日(火)～23日(日)バザー用品募集！  
ボランティア募集！バザーの準備や当日販売を行う人手が足りません。

Pick Up  
Event 2018

留学生支援の会の幹事になってくださる方はいらっしゃいませんか  
留学生の笑顔を作る活動です。興味のある方は当会までお電話でお問い合わせください。

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学留学生課気付 TEL 042-330-5183 FAX 042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

## Contents

Page 1.	1. 巻頭言
Page 2.	2. ご挨拶
Page 3.	3. 事業報告と事業計画
	3-1 平成29年度事業報告
	3-2 平成30年度事業計画
	3-3 平成29年度一般会計収支決算・ 平成30年度一般会計予算
	3-4 平成29年度特別会計報告
Page 8.	4. 活動報告
	4-1 春期バザー報告
	4-2 鎌倉見学旅行
	4-3 大国魂神社くらやみ祭
Page 14.	5. ホームステイ
	ふじのくに留学生ツアー
Page 18.	ACTIVITIES
	秋季バザー出品のお願い

## FOCUS

### 1. 巻頭言

活力ある多言語・多文化社会の  
創造をめざして

東京外国語大学 副学長・附属図書館長  
伊東祐郎

今から54年前の1964年、ちょうど東京オリンピックが開催された年に、日本で学ぶ留学生は3,000人ほどでした。同年、文部省内に留学生課が設置され、留学生の受け入れが本格的に始まりました。

その後、留学生数は増加し続け、現在、日本国内には26万人以上の留学生が勉学に励んでいます。留学生と一言で言っても、その目的や形態も様々で、交換留学から学部・大学院への正規留学まで多種多様です。目的や形態が異なっても、留学生にとって、日本での生活や日本語学習は異文化体験の第一歩になっているでしょう。

留学の醍醐味は、目標言語が話されている国や地域の人々や文化に直接触れることによって刺激を受け、外国語能力のみならず、国際性や寛容性を高められるところにあります。そして、文化には、言葉、料理、伝統芸能、芸術、衣服、行動など目に見える側面と、思考様式、宗教・倫理感、物事に対する価値観、義務感・責任感など目に見えない側面があります。目に見える部分はほんの一部です。感受性豊かな留学生の素朴な疑問や質問、時に批判的な意見は、まさにこのような異質な文化の両側面から生まれています。留学生の日本での異文化体験は、おそらく自文化の同質性や異質性を見つめ直すきっかけになり、自己の成長や変容に影響することになるでしょう。

一方で、外国人との対話や生活を通して、我々日本人も自文化についての質問を受けると、これまで気にもしなかったような自分自身の生活行動や態度を客観的に捉えられる機会や気づきがあります。異なる文化や慣習を持っている人たちとの交流を通して、実は私たちも多面的な考え方や感じ方を学んでいるのです。

特に冠婚葬祭というのは、文化性が色濃く表れるところです。マナーやエチケットは儀式として扱われることが多く、日本人でさえもそれらの意義や意味がわかって行動しているわけではありません。留学生からの質問や疑問を投げかけられて初めて発見したり気づいたりすることが少なく、そこに国際交流の意義が見出されます。

地域社会に留学生をはじめ外国人が多数居住するようになって、日本人も外国人もお互いの行動様式とその背景にある文化を理解し、柔軟な考え方を持つことが求められています。異文化間におけるコミュニケーション力を高めることが必要になっています。日本語や彼らの言語での交流の場は、隣人を理解したり、お互いの考えや思いを表現したりする場としての機能を果たしています。

2020年、2回目の東京オリンピックが開催されます。世界中から多くの人たちが集う祭典となり、東京はさらに国際都市として発展するでしょう。

これからの多文化化する社会においては、日本人が積極的に留学生をはじめとする外国人と触れあうことが重要になってきます。他者との触れあいを通して、考える力を育み、コミュニケーション力を高め、異なる価値観を受容し、それぞれが個性を發揮でき、活力ある社会を創造することが大切になってくることを改めて感じています。

## 2. ご挨拶

### 2つのツアーに同行して

副会長 勝又美智雄

2月22～24日の「ふじのくに留学生ツアー」と3月30日の「鎌倉見学ツアー」に初めて同行しました。

どちらも「支援の会」の新春の主要行事、ということで、実際にどんな風に行われるのか、新任の副会長として、まずは体験しなくては、と臨んだ次第です。詳しい報告は別記しますが、どちらのツアーも留学生たちが大喜びで、楽しんでいたことがよくわかり、「支援の会」がよくぞここまで練り上げてきたものだと感心しました。

同時に、両ツアーともイベントが成功する最大の要因が、現地の受け入れ態勢がしっかりとできていることにあることも実感できました。「富士山」は沼津市内にある臨濟宗、長興寺の住職、松下宗柏さん(69)の献身的な取り組みによって実現していること、また「鎌倉」は地元のボランティア・ガイド・グループのおかげで実にスムーズに行われていることがよくわかりました。

そこで何より嬉しいのは、どちらも50歳代以上の外大OB・OGが中心になっていたことです。松下和尚は1972年の英米語科卒で私の同級生、鎌倉ガイドのリーダー、関口洋子さんはフランス語科卒で、それに鎌倉在住の外大OBの菅原さん(フランス語科)、大石さん(中国語科)が一行

の世話役とタイムキーパー役を引き受けてくれ、全くトラブルのない円滑な運営に大きく貢献してくれていました。

こうして留学生向けのイベントに外大卒業生が関わってくれることで、参加した留学生たちに外大の人脈の豊かさと「底力」を印象づけることにもなりました。そして外大卒業生たちも大学を出てウン十年経った今、改めて外大との結びつきを確認して、自分たちが学生だった頃のことを偲びながら、外大のこの半世紀の変化も感じることができ、「支援の会」のイベントが期せずして外大 OB と現在の外大をつなぐパイプ役をも果たしていると感じさせてくれました。

そして、この2つのツアーで気づいた課題は、参加者に日本人学生がいなかったこと。イベント自体は留学生だけでなく、日本人学生にとっても間違いなく有意義な機会になるはずなのに、もったいないな、と感じました。

留学生たちと日本人学生とが長時間（丸1日～3日間）、行動を共にして雑談しあうことで、お互いにより深く「異文化接触」（場合によっては衝突・対立も）することができ、「多文化共生」のあり方を考える貴重な機会になるはずであり、そういう場にする工夫がこれから必要だな、と思った次第です。

場所 国際交流会館 2号館交流ホール  
来場者 約 200 名

## 2) 秋期バザー

期日 9月27日～28日  
場所 国際交流会館 2号館交流ホール  
来場者 約 200 名

## 3) 外語祭バザー

期日 11月27日～28日  
場所 研究講義棟 2階 226号室  
来場者 約 500 名

※バザー残品を外語祭来訪者へ販売して資金を得ました

## (2) 学会発表旅費の助成金を支給

海外学会発表 1人5万円を5名に支給  
国内学会発表 1人2万円、該当者なし

## 2. 貸与事業

「留学生緊急貸付基金」より、授業料納入等で困窮している留学生に貸与しました

今期貸与額 5名 340,000円

返却額 10名 1,076,000円

貸付総額 2,712,000円

30年度当初貸付可能額 1,561,561円

## 3. 相談事業

留学生の住居・学費・引っ越し・アルバイト等に関する相談に対応しました

## B. 友好親善事業

### 1. 国際交流事業

国際交流の夕べを大学と共催しました

平成29年12月8日(金)、大学会館

来場者 留学生125名、日本人学生25名、

来賓・大学関係者・支援の会等50名

(合計200名)

### 2. 会員等の協力による友好親善事業

(1) 会員の協力によりホームステイを受入

# REPORT

## 3. 事業報告と事業計画

### 3-1 平成29年度事業報告

#### A. 生活支援事業

##### 1. 給付事業

(1) 生活用品などを廉価で給付するバザー

###### 1) 春期バザー

期日 4月5日～6日

- 1)ふじのくに留学生支援の会による  
「ふじのくに留学生ツアー」  
平成 29 年 8 月 1～3 日 留学生 9 名  
平成 30 年 2 月 22～24 日

留学生 11 名、幹事 2 名

- 2)会員によるホームステイの受入れ  
東京都 受入会員 2 名、留学生 3 名  
大阪府 受入会員 2 名、留学生 9 名

(2)地域の文化行事に参加しました

紅葉丘文化センター秋祭 留学生 2 名

C. 日本理解事業

1. 伝統文化の見学

(1) 歌舞伎を見学し懇親茶話会を開催

平成 29 年 6 月 11 日(日)

国立劇場「歌舞伎鑑賞教室」

参加者 留学生 41 名、日本人学生 9 名、  
幹事 9 名、大学職員 2 名(合計 61 名)

(2) 東京下町文化体験ツアー

平成 29 年 11 月 12 日(日)

隅田川クルーズ、浅草散歩、江戸東京博  
物館見学、ちゃんこ鍋

参加者 留学生 42 名、日本人学生 3 名、  
幹事 8 名、大学職員 3 名(合計 56 名)

(3) 古都鎌倉見学ツアー

平成 30 年 3 月 20 日(火)

円覚寺、鶴岡八幡宮、由比が浜海岸、長  
谷寺、鎌倉大仏

参加者 留学生 26 名、幹事 4 名、  
鎌倉在住卒業生 2 名、鎌倉観光協会  
5 名(合計 37 名)

(4) 大國魂神社くらやみ祭を見学

平成 29 年 5 月 4 日(水)

参加者 留学生 18 名、日本人学生 2 名、  
幹事 3 名(合計 23 名)

2. 伝統文化の体験・学習

(1) 伝統文化体験教室を大学と共催

平成 29 年 12 月 8 日(金)学生会館など

振袖着付け、華道、茶道、囲碁、日本の  
伝統的遊び

来場者 合計 150 名

(2) 伝統文化指導教室を開催

通年週 1 回

華道、茶道、書道、囲碁

参加者 留学生延べ 200 名

(3) 日本語広場を開催

通年週 2 回

参加者 講師 3 名、受講者延べ 200 名

(4) 七夕茶会(裏千家茶道倶楽部と共催)

平成 29 年 7 月 11 日(火)学生会館和室

参加者 留学生 41 名

D. 国際理解事業

1. 各国文化紹介

各国のお茶とお菓子を通しての文化紹介は  
日程調整がつかず開催できませんでした

2. 国際理解教育へ協力

小中学校の国際理解教育授業へ留学生を派  
遣しました

府中市立第七小学校/留学生 6 か国 6 人

川崎市立はるひ野小学校/留学生 2 か国 2 人

E. 広報その他の事業

1. 「会報」を 3 回発行

第 55 号(平成 29 年 6 月) 第 56 号  
(同 11 月) 第 57 号(平成 30 年 2 月)

2. 会員募集の説明を実施

大学新入生入学式の際(平成 29 年 4 月 8 日)  
に会長が入会を呼びかけました

3. 幹事会の開催

幹事会を開催して行事の企画・運営等を相  
談しました

平成 29 年:4 月 2 日(日)、5 月 14 日(日)、  
6 月 18 日(日)、9 月 24 日(日)、

10月28日(日)、12月3日(日)  
平成30年:1月28日(日)、2月18日(日)

(2)地域の文化的行事への参加を斡旋  
紅葉丘文化センター秋祭など

#### 4. 会則・人事

##### (1)留学生支援の会の会則が幹事会で決定

平成29年6月

##### (2)主要幹事の交替がありました

- 1) 支援の会創設(1999年)以来務めてきた三役、中嶋洋子会長、笹岡太一副会長、梅田由美子幹事(留学生課職員)が退任しました
- 2) 鮎澤孝子会長、勝又美智雄副会長、岡田昭人副会長が選任されました。

#### C. 日本理解事業

##### 1. 伝統文化の見学

- 1) 国立劇場「歌舞伎鑑賞教室」見学  
6月3日(日)
- 2) 東京下町文化体験ツアー  
墨田川クルーズ、浅草・江戸東京博物館・ちゃんこ鍋、11月予定
- 3) 鎌倉見学旅行  
鎌倉の文化遺産と自然の見学、  
平成31年3月予定
- 4) 地元の伝統的・文化的行事の見学  
大国魂神社くらやみ祭など

### 3-2 平成30年度事業計画

##### 2. 伝統文化の体験

- 1) 「伝統文化体験教室」大学と共催  
12月予定
- 2) 日本語広場を週2回開催
- 3) 「伝統文化指導教室」開催  
茶道・華道・書道・囲碁(毎週)
- 4) 七夕茶会を開催

#### A. 生活支援事業

##### 1. 給付事業

##### (1)生活用品のバザー(廉価で販売)

- 1) 春季バザー 4月5日(木)～6日(金)
- 2) 秋季バザー 9月27日(木)～28日(金)
- 3) 外語祭バザー 11月

##### (2)学会出席旅費の助成金

合計30万円

国外開催の学会 1人5万円

##### 2. 相談事業

留学生の住居・学費・法律等の相談に対応

#### D. 国際理解事業

##### 1. 各国文化の紹介

テーマは私の国のお茶とお菓子、3か国

##### 2. 国際理解教育授業への協力

小・中・高の授業に留学生を派遣

#### B. 友好親善事業

#### E. 広報その他の事業

##### 1. 国際交流事業

「国際交流の夕べ」を12月に大学と共催  
留学生と一部日本人学生、留学生支援団体を招待

##### 2. 会員等の協力による友好親善事業

##### (1)ホームステイ・ホームビジットの受入れ

ふじのくに留学生ツアーなど

##### 1. 「支援の会 会報誌」を年3回刊行

第55号～第57号

##### 2. ホームページ(facebook)の運用

##### 3. 会員募集のための諸活動

大学入学式などでアピール

##### 4. 幹事会の開催(原則毎月)

### 3-3 会計報告と予算

#### A. 平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）一般会計収支決算

《収入の部》				
科目	項目	29年度予算額	29年度決算額	摘要
前年度繰越金		1,037,849	1,037,849	
会費	一般会員	2,280,000	2,697,000	3,000円×207名=621,000 12,000円×173名=2,079,000
	協賛会員	80,000	40,000	20,000円×2名
寄付	一般	250,000	331,000	
	緊急貸付基金	-	-	
その他	バザー等	650,000	862,808	バザー収益金・行事参加費・学生後援会補助金
	利息	10	7	
収入の部合計(A)		4,297,859	4,968,462	
《支出の部》				
科目	項目	29年度予算額	29年度決算額	摘要
活動費 (友好親善事業・相互理解事業)	国際交流行事共催費	370,000	380,000	伝統文化体験費・交流金費(大学との共催)
	史跡見学費	300,000	272,382	鎌倉見学
	日本文化見学費	600,000	622,710	歌舞伎見学・東京下町体験・ふじの回ツアー
	日本先端技術見学費	-	-	先端技術工場見学(昨年度は種家り見学)
	日本文化体験費	300,000	183,184	華道・書道・茶道・日本語広場
	日本人学生との交流会費	100,000	-	茶・菓子等
	その他の交流活動費	150,000	8,550	国際理解教育謝金・交遊費
活動費 (生活支援事業)	留学生支援の奨学金	-	-	奨学金
	教育研究支援金	200,000	250,000	学舎発表出席旅費補助金
	連絡室協力謝金	300,000	353,000	留学生連絡室協力謝金
	入院見舞金	-	-	入院見舞金
活動費 (広報普及事業)	通信費	330,000	308,692	会報発送費等
	印刷費	280,000	265,874	会報印刷費等
	活動費小計(a)	2,930,000	2,542,382	
運営費	消耗品費	20,000	9,218	プリンターインク代
	備品費	20,000	28,481	プリンター
	連絡室運営費	25,000	29,974	連絡室用携帯電話使用料等
	郵便振替手数料	40,000	41,370	郵便振替手数料
	その他	10,000	-	
	運営費小計(b)	115,000	107,041	
予備費	(c)	-	-	
繰入金	緊急貸付基金(d)	-	-	
支出の部の合計(B)	(a)+(b)+(c)+(d)	3,045,000	2,649,403	
	(A)-(B)	1,252,859	2,319,059	
特別会計繰入(C)	緊急貸付基金	-	1,660,000	
次年度繰越金	(A)-(B)+(C)	-	3,979,059	

平成30年5月12日

監査の結果、適正であったと認めます。  
平成30年5月27日

監事 11) 口建一 (M12)

### 3-3 会計報告と予算

#### B. 平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)一般会計予算

##### 《収入の部》

科目	項目	30年度予算額	摘要
前年度繰越金		3,879,059	特別会計繰入金1,560,000含む
会費	一般会員	2,559,000	3,000円×165名 12,000円×172名
	協賛会員	40,000	20,000円×2名
寄付	一般	300,000	
その他	バザー等	800,000	バザー収益・行事参加費
	利息	10	受取利息
収入の部合計(A)		7,578,069	

##### 《支出の部》

科目	項目	30年度予算額	摘要
活動費 (友好親善事業・ 相互理解事業)	国際交流行事共催費	380,000	伝統文化体験費・交流会費(大学との共催)
	史跡見学費	280,000	鎌倉見学
	日本文化見学費	600,000	歌舞伎鑑賞・東京下町ツアー・ふじの国ツアー・能楽鑑賞
	日本先端技術見学費	200,000	先端技術工場見学
	日本文化体験費	200,000	華道・書道・茶道・日本語広場
	日本人学生との交流会費	100,000	茶・菓子・昼食等
	その他の交流活動費	10,000	国際理解教育交通費・謝金
活動費 (生活支援事業)	教育研究支援金	300,000	国際学会発表出席旅費補助金
	連絡室協力謝金	500,000	留学生連絡室協力謝金
活動費 (広報普及事業)	通信費	350,000	会報発送費等
	印刷費	300,000	会報印刷費等
	活動費小計(a)	3,220,000	
運営費	消耗品費	10,000	プリンターインク代・コピー用紙代
	備品費	20,000	
	連絡室運営費	25,000	連絡室用携帯電話使用料
	郵便振替手数料	40,000	
	その他	-	
	運営費小計(b)	95,000	
支出の部の合計(B) (a)+(b)		3,315,000	
次年度繰越金	(A)-(B)	4,263,069	

### 3-4 平成29年度特別会計

#### (緊急貸付基金) 報告

貸付担当幹事 梅田

1 前年度期末基金総額	: 4, 273, 561
2 今期基金総額(追加繰入無し)	: 4, 273, 561
3 前期末貸付残額	: 3, 448, 400
4 今期貸付額	: 340, 000
5 5件(授業料 1件, 医療費 1件、生活費 1件、転居費 1件 受験旅費 1件)	
5 今期返済(回収)額	: 1, 076, 000
6 期末貸付残額(3+4-5)	: 2, 712, 400
7 損金計上	: 1, 000, 000
8 貸付可能繰越金(2-6)	: 1, 561, 161
9 次年度期初基金総額(2-7)	: 3, 273, 000

(平成29年4月～平成30年3月) 単位: 円

今年度は、緊急貸し付け基金を開始してから14年目になります。開始時は160万円だった基金総額も、今年度当初は427万円になっております。その間に、600名近い留学生が学費、家賃、生活費などの理由でこの基金を利用し、留学生生活を続けてきました。これもひとえに会員の皆様のご支援のおかげと感謝しております。

この貸付基金の始まりは、母国の経済・政治状況悪化のために仕送りが受けられなくなったり、健康を害してアルバイトが出来なくなるなど、様々な理由で授業料の支払いに窮する学生が多く、せつかく志を立てて日本へ留学して来た学生が、途中で学業を止めざるを得なくならないよう援助するためでした。しかしながら、ここ数年は政府からの授業料免除の予算が増えたため、授業料を理由の貸付件数も年々少なくなってきました。一方、以前から様々な理由で授業料免除申請が認められない、奨学金も受給できないなどで借りに来た学生、借りた後不幸な出来事が重なって病気休学する学生、家庭の事情のため帰国、博士論文執筆が完了できずに休学帰国等々で、長期に返済で

きない留学生も多くいます。

これまでそのような学生達にも出来るだけ連絡を取ってきていますが、3月までに返済不能と分かった100万円を貸付運用指針に基づき損金処理とさせていただきます。

現在は返済不可能と考えられる卒業生や休学中の留学生でも返済できる時が来れば返済するとの思いを持って今後も連絡を続けたいと考えています。

2018年度から支援の会も新体制で会の活動が始まりますが、3月の幹事会で、会の財政状況や、これまでの貸付基金の経過等を検討の結果、貸付制度は廃止して、現在の貸付可能繰越金とこれから返済される予定の金額は、通常予算に繰り入れることに決定しました。

## REPORT

### 4. 活動報告

#### 4-1 [春期バザー]

春期バザーへのご協力  
ありがとうございました

留学生支援の会

4月5日、6日に開催した春期バザーには多くの会員、近隣にお住まいの方々から沢山の品物を送っていただき、ありがとうございました。

バザーの収益金は、263,977円でした。

いつもながら毎回、送料もいとわず、様々な品物を提供して下さった会員の皆様には、留学生とともども心から感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくご協力お願いいたします。



留学生に必要で素敵なものを提供したい

小松幹事

当日現地にて、ボランティアガイド5名、  
外大卒の先輩2名、合計7名が案内した

いつもより全体的に品物が少ない中で、電化製品と台所用品と食器類が少なかったです。そのためか食器類がかなり売れました。

寝具類は前回の残りと合わせてたくさんあったので購入者が多かったです。

今回は、ガラスケースに入った日本人形がいくつも売れたことがうれしかったです。

バザーの回を重ねるごとに、展示が上手に綺麗になりました。中でも衣類は男女別、大人子ども別はもちろんのこと、パンツ、スカート、パーカーなどに分類分けをし、それを明示して探しやすいことはよかったと思います。

毎回、準備、当日また後片付けと大変ですが、留学生が必要に応じて素敵な品々を買い求めていく姿を見るとうれしくなります。これも皆様からの品物の寄付があればこそと感謝しております。



バザー会場

## 4-2 [鎌倉見学ツアー]

### 見どころ多い鎌倉の古寺 料理と海岸も楽しみ

中村幹事

[実施内容]

3月20日(火) 8:00~18:00

参加者：留学生26名 幹事4名 合計30名

昨年に続いて今年もまたもや悪天候、春の訪れがこの日に限ってはあまり感じられず、集合場所では強い寒風吹きすさぶ状態であったが、鎌倉に到着する頃には雨足や風もやや鎮まって、「絶好の鎌倉見学日和」とは言えないものの、「傘を差さなくても何とか過ごせる」ところまで回復した。

#### <集合・受付>

8:30までに出発することを期して、敢えて30分前の集合時間を設定したが、結果的に無事に8:20に出発できた。これは参加者の集合が思いの他順調であったことによる。毎回恒例の直前確認連絡の効果はもちろんであるが、年々若者の間でスマホのナビ機能活用が定着しているようだ。今回は直接集合場所に行くことが不安な学生がいるものと想定し、わざわざ新宿駅西口広場内交番への一次集合も可として設定しつつ、ここから最終集合場所への道案内を行ったが、大半の学生はほぼ時間どおりに直接集合場所へと直行した。受付業務そのものも極めて順調に推移した。

なお、わずかに1名の貴重な日本人参加予定者が当日体調不良で参加できなかったことは残念であったが、一方で集合時間への大幅な遅延を余儀なくされたブラジル人留学生が自らの判断でわざわざ現地(鶴岡八幡宮で合流)まで自力で来てくれたことに感謝したい。

#### <バス車中>

好天に恵まれなかったことが逆にプラスに働き、高速道路走行は順調で10時前には最初の見学地「円覚寺」に到着できた。これには現地で待機されていたご案内してくださる皆さんもやや驚かれていた。

車中では車掌さんが道中の景色や鎌倉の歴史を詳細にして説明した。これを日本独特の「客対文化」として評価する声もあった。ただ、年代を西暦ではなくて年号で表現されたことなど、日本人でも理解が困難な部分もあった。

午前中見学（円覚寺→鶴岡八幡宮）の円覚寺は見るべきものが多く、時間的にはやや不足気味。したがってどのポイントを中心に見学するのかが案内者によって多少異なったが、それも含めて案内者ご自身の判断にお任せした。

鶴岡八幡宮では、何年か前には結婚式が、昨年ちょうど横浜ベイスターズのラミレス監督以下の優勝祈願が行われていたが、残念ながら今年はなし。ただ、参拝者は多国籍であり、かつ日本人の和服姿（本人達に聞くとレンタル着物であったが、なかなか綺麗）にシャッターを向ける留学生もいた。

#### <昼食>

由比ガ浜近傍の例年恒例のホテル・レストランで和食ランチを味わった。参加募集の段階から「海鮮料理が味わえますよ！」と大いにPRしたものである。留学生にとってはどの皿も新しく見るものであろうが、刺身や生で味わうものが少なかったので、「海鮮」というにはやや違うかな。

食事後の長谷寺への移動は悪天候に鑑みて中止も考えたが、海を見たいという内陸国からの留学生にも配慮し、短時間ではあるが由比ガ浜に立ち寄った。

ここからの長谷寺への道中は鎌倉住宅街の細い道を通るものであり、留学生同士の会話も弾むので歩行移動もいいものである。

#### <午後の見学>

長谷寺は、観音堂をはじめとする主要な諸堂宇が建ち並ぶほか、鎌倉の海と街並みが一望できる「見晴台」や傾斜地を利用した「眺望散策路」があって、留学生にとっては絶好の日本伝統見分場である。さらには庭園と池、弁天堂などもあり、シャッターチャンスをも提供してくれた。

最後は大仏。なによりもその威容に圧倒され、大仏様を背景に全員で集合写真を撮った。留学生にとっては、裏庭にある茶店でのお土産探しやCafeタイムの楽しみもあり、皆それぞれに鎌倉との別れを惜しんでいた。



## [鎌倉見学ツアー]

### ガイドの説明を熱心に聞く留学生

勝又副会長

「鎌倉見学ツアー」に鮎澤会長と一緒に初めて同行しました。二人とも勝手がわからないので「引率」ではなく「同行」です。幹事ではベテランの中村さん、山田さんがもっぱら「引率」役で、会長と私はそれに従って行くだけでした。

彼岸直前の当日は朝から小雨模様で風もあり、終日肌寒く、あとで聞けば、この時期の鎌倉は曇りか雨の 때가多く、なかなか晴天に恵まれない、とのことでした。それでも留学生たちは皆元気で、傘をさしての寺社巡りを楽しんでいました。

新宿駅西口から少し離れた工学院大学前が集合場所で、幹事団は「わかりにくいのでは」と心配しましたが、学生たちはスマホでの検索を頼りにほぼ定刻通りに集合。ひとりだけ「寝坊して間に合わないの、電車で行く」と連絡があり、無事に鶴岡八幡宮で合流し、あとはスムーズに行きました。

留学生たちはスマホ（SNS）をうまく使って、機敏に動き回れるようです。新宿から鎌倉までの往路、富士急行のバスガイドが都内の道路事情、建築物などの案内を巧みにやるのも熱心に聞いていて、参加者のほとんどが日本語をかなり良く理解していることがわかりました。

鎌倉に到着すると、現地のボランティアガイドさん5人が待ち受け、留学生を5班に分けて、それぞれが案内し、それに鎌倉在住で「支援の会」メンバーになってくれている外大OBの菅原さん(フランス語科)、大石さん(中国語科)がタイムキーパー役を引き受けてくれ、スムーズな運営に貢献してくれました。

コースは例年通り、円覚寺に午前10時着、八幡宮に11時10分から、ホテル「わかみや」での昼食(和定食)が正午から、由比ガ浜海岸沿いの散歩が12時50分から、長谷寺が13時50分から、高德院の大仏が15時からとすべて予定通りに巡り、16時には大仏前を出発しました。帰途は首都圏の高速道路の

渋滞がひどく、新宿駅に着いたのは予定より1時間近く遅く、午後6時50分くらいでした。

帰りのバスでは幹事団が「支援の会」のさまざまな活動について説明。主に外大生の父兄が趣旨に賛同して会費、寄付金を出してくれているおかげで鎌倉ツアーなどの経費の大半が賄われていることなどを解説して、会への理解を深めてもらいました。

後日、感想文を書いてもらった中にも、そうした「支援の会」の活動に感謝する言葉が出ていて、幹事団としても嬉しい思いをしました。

## 古い雰囲気の中で心が洗われた

ISEP

チャン ティーアン トゥエット (ベトナム)

先日の鎌倉への旅、お世話になりました。私は秋学期に入学しました。

初めて鎌倉へ行ってきましたが、やはり思った通りものすごく美しく緑の豊富な景色が印象的でした。古い雰囲気の中で心が洗われたように本当に落ち着いた感じでした。今回の旅、申し分のない完全に最高だと思います。

皆様の思いやりに一番感謝しております。寒い早朝にもかかわらず、出迎えに来てくださったり、お菓子をわざわざ準備してくださったりしたことは日本人の気配りがどんなものなのかをよく理解できました。

鎌倉のお寺、日本の歴史なども色々教えていただきました。ボランティアの皆様は、優しく、日本語がまだまだである私に頑張って案内していただきました。

バスサービスも印象的でした。バスに乗りながら、窓から見えた景色のことをちゃんと説明していただくのは日本で初体験でした。

私達がそのような素晴らしい体験をさせるために、わざわざお金を出して、完璧に準備していただき、誠にありがとうございます。ものすごく良い思い出ができました。

今後もしよろしく願いいたします。

## 昼食が全部シーフードだったので安心

ISEP

へバ アシラフ(エジプト)

3月20日に私たちは鎌倉へ旅行をしました。私はいつも鎌倉に興味があるので、すぐに予約しました。

その日に早く起きて集まる場所まで行きました。私たちが着くと、先生達が私達にいっぱいのお菓子をくれました。本当に皆嬉しくなりました。それから皆がバスに乗りました。

そのバスの中にガイドがいました。彼女は本当に優しく、いろいろな情報を詳しく言ってくれました。ですが、天気は良くなかったのでバスの窓から外を見にくかったんですが、私はできるだけ見ました。

一番目の場所は円覚寺だった。あそこの自然はきれいです。だから私達がいっぱい写真を撮りました。その後鶴岡八幡宮に行きました。私はあそこでたくさん勉強になりました。神道についてくわしく勉強になりました。

そのあと皆で食べに行きました。食べ放題だったし、おいしかったからいっぱい食べました。食べ物は全部シーフードだったので私にとっては便利だった。私はムスリム人だから、ある食べ物はダメですからシーフードが一番安全でした。

海にも行って写真を撮りました。その時は私が日本に来た今まで海を見るのは初めてでした。楽しかった。

それから海の近くに位置している長谷寺も行きました。

最後は大仏でした。私は4年前にインターネットで大仏の写真を見て、行きたいなあと思いました。だからその日私の夢は叶いました。そこで私の家族のためにお土産を買いました。

本当に先生達は皆優しく、色んな事を教えてくださいました。

一番気に入ったのは『ボチボチ』です。(笑)  
本当にありがとうございました。

## 鎌倉は外国人にとっても印象的

ISEP

チョウ スイエン(中国)

3月20日に、鎌倉を見学に行きました。今回のツアーで、先生たちと一緒に、まずは円覚寺、それから鶴岡八幡宮、由比ガ浜海岸、長谷寺、最後は大仏像を観て、いろいろ感動しました。

この前、私は日本の歴史の授業で、鎌倉という町を覚えました。それは、鎌倉は鎌倉幕府と源頼朝と関係があるからです。鎌倉幕府は武家社会、封建社会の始まりです。

源頼朝は何故政治中心を鎌倉というところに設置しましたか。おそらく、鎌倉の特殊な地理位置と関係があります。まず、鎌倉は、京都と東京の間に位置します。そして、鎌倉は東・北・西の三方を山で囲まれ、南は相模湾に面したなので、天然の要害です。東・北・西のいずれから鎌倉に入ったら、山を切り開いた狭い通路を通らねばならない、防御のしやすいところです。

鎌倉幕府が置かれたので、鎌倉文化が全国に広がりました。近代に入ってから、作家、美術家などの文化人は鎌倉に集まり住んで、「鎌倉文士」と言われました。そして、鎌倉は、幾つかのドラマや小説などの舞台にもなっています。

先生の詳しい説明からも、これらの観光地の歴史とか、面白い話とか、いろいろ勉強になりました。あの日、雨が降って寒かったけど、すごく嬉しかったんです。傘を持って、海岸に沿って散歩したり、話したりして、ロマンチックな感じがいっぱいでした。歴史的な雰囲気が溢れて、そして広い海も、私に忘れられないイメージを残しました。

その中で一番印象的なのは鎌倉大仏です。新緑の季節、鎌倉大仏はずっとそのままに静かに座っています。大仏の外観だけから見ると、もう感服しました。その中にも入って、中から見ると、当時にそれを築く古代人の知恵も分ることが出来ます。この前、教科書でその写真を見たことがあ

るけど、今回は本物を見ました。写真や文字より、やはり本物のほうが人に深い印象を残します。大仏は国宝として国の仏教芸術史で重要な価値を有しています。

日本人だけでなく、数多くの外国人にも訪れて、ここは有名な観光地になっています。これによって、外国人に日本の文化と歴史を勉強する意欲を起こさせると思います。

#### 4-3 [大国魂神社くらやみ祭]

### 本場の祭の雰囲気は貴重な経験

岡田昭人 副会長

5月の連休中に開催された府中市大国魂神社くらやみ祭に、東京外国語大学（東外大）の留学生とその家族や友達など大勢が参加しました。

当日は本町会所の皆様へたいへんお世話になりました。留学生たちはハッピーを着る、大太鼓を叩くなど、本場の祭りの雰囲気を味わう貴重な経験をしました。また、お祭りの伝統や長年受け継がれてきた習わしを知ることによって真の日本文化理解になりました。

留学生たちは各自が多様なネットワークを持っているので、くらやみ祭の情報や感想などをフェイスブックやツイッターなどを通じて世界に



大太鼓の体験

向けて発信してくれると思います。これからもこのような形で府中市と東外大が積極的に相互交流し、その活動をアピールしていくことができるのではないのでしょうか。

地域の伝統行事に留学生を参加させるにあたっては様々な困難がともないます。ですが今回、地元の皆様のおかげでご支援により、皆がくらやみ祭を楽しむことができました。

この場をおかりして、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

(※19 ページにハッピーを着た集合写真を掲載)

## VOICE

### 5. ホームステイ

#### ふじのくに留学生ツアー

#### 参加留学生の声を集めてみた

勝又美智雄 副会長

[実施内容]

日 時 2018年2月22日(木)～24日(土)  
参加者数 留学生11名、幹事2名(勝又副会長夫妻)

静岡県では2月23日を「フジサン」と語呂合わせして「富士山の日」と決め、この日に富士山麓をハイキングするなどのイベントを組んでいる。それに合わせて沼津市在住の臨済宗長興寺の松下宗柏住職(69)が、母校である東外大の留学生を受け入れる「ふじのくに留学生ツアー」をこの10年ほど実施しており、今年もJR沼津駅を基点にして行われた。

参加した留学生は7カ国11(男3、女8)人で、日本語科研究生6人、ISEPプログラム履修生が2人などで、日本語がかなり達者な学生がほとんどだった。留学生の集合場所は新宿駅南口のバスターミナルで、そこから高速バスで沼津駅に向かい、沼津駅からは現地の貸し切りバスで移動した。

3日間ともほぼ好天に恵まれ、バスの中では松下和尚がもっぱらガイド役を務め、全くトラブルなくツアーできた。

このツアーで Good News がいくつもあった。まず韓国とインドからの女子留学生3人が三島市のFMラジオのスタジオに招かれて出演した模様が3月5日に放送されたこと、また富士宮市の県立富士山世界遺産センターを訪問したときの様子を静岡新聞が取材し、写真付きで翌日2月24日付けの紙面で紹介したこと、そして地元の沼津朝日新聞が長興寺での裏千家の茶道と座禅の体験を記事にしたこと、さらにはブラジルの女子留学生の感想文が静岡新聞の投書欄(3月8日付け)で取り上げられたことなどだ(写真を参照のこと)。

参加者のうち8人が感想文を書いてくれた。その中で全体的にまとめてくれた3人の文章を別項で紹介するが、それ以外の感想を見ると、

まず富士山については「日本に来てからずっと富士山に憧れていた。いつか登りたいなあと思って、体を鍛えてきたのも事実だ。だから、青空にそびえ立った富士山の姿に大感動した」(マテウス ブラジル 男)。

「毎日静岡県の色々なところが見れて、自然を満喫できて、すごく充実した三日間だったと思う。またこのようなツアーがあったら是非参加したい」(ウンジュ 韓国 女)

泊まったのがお寺だった人は「お寺は江戸時代の雰囲気らしい。とても楽しくて、お坊さんは親切だ」(ルイス ブラジル 男)と喜び、ホームステイした人は、その家族が「親切を尽くして、色々な優しいことをしてくれた。例えば、ウズベキスタンに海がないから、私は一度も海を見たことないと言った後、家族は私を海を見に連れて行った。私たちは沼津御用邸を見学をするとき私の家族は一緒に行って、私にその所についてたくさん面白い情報を教えてくれた」(ナゾカット ウズベキスタン、女)、「ホームステイの家族もすごく親切で優しくて一生その家族を忘れられないです」(フェリッペ ブラジル 男)と感激している。

ツアー後、参加者の感想文を松下和尚に伝えたところ、和尚からは「ホームステイの家庭にもぜひ、お礼状を出してほしい」との要望を受け取った。全員がそれを実行していることを期待している。

**憧れの富士山に見て感動**

東京都  
ニシ・ラファエラ・ヨシエ  
(学生 30歳)

私は都内の大学で、日本語や文化を学んでいるラファエルからの留学生です。キヤンパスや電車の中から見える富士山は、私の憧れでした。

2月22、24日、静岡県内の朝霧高原でのイベント「富士山」に向かってみんなで歩こう！に参加しました。

みました。初日は清水町の柿田川湧水公園に行きました。富士山の雪解け水が湧き出し、キラキラと光る砂が動くのを見て「きれいだなあ」と感動しました。

2日目は「富士山の目」。朝霧高原でのイベント「富士山」に向かってみんなで歩こう！に参加しました。

ふくらはぎが痛かったのですが、最後にはさすがに気持ちになれました。

県立富士山世界遺産センターでは、富士山の「生い立ち」について知り、とても興味深かったです。昔から日本人にとって、富士山は大切な存在だということが分かりました。憧れの富士山に、少しでも近づけることができましたことをうれしく思います。

3月8日付け静岡新聞  
2月24日付け静岡新聞



富士山の眺望を楽しむ留学生たち  
＝富士宮市の県立富士山世界遺産センター

**留学生、登山疑似体験**

富士宮世界遺産センター訪問

東京外国語大の外国人留学生が富士山麓の名所を巡る「ふじのくに留学生ツアー」の一環が、富士宮市の県立富士山世界遺産センターを訪問した。

ふじのくに留学生支援の会(松下赤柏代表)の主催。留学生11人が、富士登山を疑似体験するらせんスロープ

を登り、最上階の展望ホールから富士山の眺望を楽しんだ。市内の朝霧高原で開かれたウォーキングイベント「富士山」に向かっ

て歩こう！にも参加した。

ツアーは24日までの3日間。富士宮のほか沼津、三島などの各市

## ホストファミリーと過ごした 温かい時間

日研生

セレズニョワ・ヴァレンティナ(ロシア)

「ふじのくに留学生ツアー」は東京外国語大学の留学生に対して2月22日～24日に静岡県で開催された。このツアーには様々な国から11人の留学生が参加した。その中の4人がお寺に泊まって、残りの留学生はホストファミリーのところに泊まった。

1日目は柿田川湧水公園を見学に行った。富士山からの伏流水が噴出する泉を見ることができた。そこを案内していたおじいさんが86歳の方で、元気そうにお仕事をしている姿を見て感動した。人はどの年齢になっても好きなことなら熱心にやるということを実感できた。その後三島市のラジオFMの収録に3人で参加した。初めてのラジオ出演で緊張したが、20分の収録がいい経験になった。そして、このツアーのお陰で、日本の伝統的な文化「茶道」と「餅つき」を体験できた。

私がこのツアーで一番楽しみにしていたのはホストファミリーに会うことだった。ホストのお母さんとお父さんと様々なことを話せた。楽しくて勉強になったこともいくつかあった。お母さんの手作りの料理とお父さんの深い話に感動した。



ホストファミリーと

2月23日は「富士の日」と知られていて、「富士山に向かって歩こう」というイベントに参加できた。晴れている天気で、皆で富士山を眺めながら、とても気持ちいい散歩であった。留学生は皆、ロングコースで富士山のふもとを歩き回って、いい時間を過ごせた。歩いて疲れたあと、美味しい和食を食べたのは最高に幸せだった。

残りの時間には「白糸の滝」を見て、富士浅間神社を参拝した。そして「富士山世界遺産センター」という新しくできた世界遺産センターを見学した。この世界遺産センターで体験した映像や写真は、私の実際の経験とかなり近い気がした。センターが展示などで紹介している情報が多くて、もう少し時間をかけて読みたかったと思ったほどだった。



2 日目の夜もホストファミリーと楽しい時間を過ごせて、自分の家族と一緒にいる感じだった。

3 日目はホストファミリーと一緒に朝ご飯を食べて、集合写真を撮った。そして、皆と合流して沼津御用邸を見学した。ホテルで昼ご飯を楽しんだ後、足湯で疲れが取れた。そして、沼津駅で皆がそれぞれのホストファミリーとまた会えた。私はお母さんから晩ご飯用にと、お魚などをもらった。その温かさに感動した。昨日まで知り合いではなかった方々と時間を過ごしてこんなに愛情をいただいたこと、自分の家族と呼ぶまで親しくなったことはさすがに日本の「おもてなし」だと実感した。

このように3日間、感動した瞬間が多くて、とても素敵な経験をした。自分と異なる背景、ライフスタイル、知識などをもっている方々と話すのが好きな私は、すっかりして東京に戻った。このツアーで出会った先生、ホストファミリー、和尚さんと、ボランティアで支えてくださった方々に厚くお礼を申し上げたい。どうもありがとうございます。

## 憧れ「富士山」に近づくことができた

日研生

フラヴィア・ヨシエ・ニシ(ブラジル)

私は殆ど富士山について知らなかったです。しかし、留学している東京外国語大学のキャンパスから見たり、電車の中から見えたりすると、とても嬉しかったです。富士山は私の憧れです。

ドラマ・ドキュメンタリーの科目で、同時通訳で有名な長井鞠子さんのドキュメンタリーを見た時印象に残ったのは、長井さんが富士山を窓から見て、願掛けをしようと言ったことでした。彼女と、多くの日本人にとっては富士山は神的存在であることに気づかされました。

私の知っていた富士山は目で追いたい存在であり、遠くから、運が良ければ見えるものでした。小さくて、可愛いイメージが私にはありました。

「ふじのくに留学生ツアー」の初日は柿田川湧水公園へ行きました。私は初めて水が湧くのを見





ました。キラキラと光る砂が動くのを見て「綺麗だなあ」と思いました。エメラルドグリーン色の水も綺麗で、思わず冬の寒さも忘れ、その水に飛び込みたくなりました。

その後、長興寺に到着し、お茶室でお茶を頂き、初めてお茶を点てました。お花や掛け軸などのお客様への気配りはとても優しく感じられました。

お茶の後は座禅の時間でした。人生二回目の座禅の体験でした。一回目はブラジルで体験したけれど、当時は自分も幼く、あまり理解できず、ただ言われるがままにしたのを覚えています。今回は和尚様とご住職様が丁寧に指導してくださり、とても貴重な時間を過ごしました。お土産として、座禅の体の軽さ頂き、息を吐くことの大切さを学びました。

座禅中は手の位置が正しいのかとか、正しく息を吐いているのかとかを考えたり、過去の出来事などがいろいろと頭に浮かんだりしましたが、静寂に勝るものはなしと思いました。

2日目は富士山の日でした。富士山に向かって歩きました。最初は眠く、足のふくらはぎが痛く、文句ばかり言っていた私ですが、最後は苦にならず、すがすがしいとさえ感じました。

もっと近くで見る富士山は思ったほど美しくはなかったですが、その偉大さには驚きました。ツアーに行く前は「夏には絶対に富士山を登ろう！」と意気込んでいた私を怖気づかせました。「果たして私は登れるのだろうか？」と何度も自問しました。

富士山世界遺産センターでは富士山の成り立ちについて知ることができたので、とても興味深かったです。富士山は昔から、日本人にとってはとても大切な存在だということも分かりました。この3日間、ホームステイのご夫婦の家に宿泊しました。とても良い方達で、美味しいお料理を作ってくださいったり、ウクレレを聞きに連れて行ってくださったり、海へ連れて行ってくださったりしました。

このツアーではそういった新しい出会いもあ

ったり、知り合いや友達の絆を深めたりでき、かけがえのない思い出になったので、私は感謝の気持ちでいっぱいです。富士山に少しでも近づくことができ、嬉しく思います。まだ来日していない留学生達が参加できるように、このツアーが続けばいいなと思います。

## ホストファミリーから教わった 「一期一会」

日研生

セレズニョワ・ヴァレンティナ(ロシア)

2月22～24日の「ふじのくに留学生ツアー」はとても楽しくていい経験になりました。この3日間で様々な観光地を訪れて、感動するほどの景色に出会えました。

一番綺麗なのは富士山の姿でした。写真よりも、もっと近くに見えて迫力ありました。特に、富士山の日「富士山に向かって歩こう」に参加して、富士山の風景をゆっくりと楽しむことができました。

綺麗な風景と言えば、滝と海もものすごく素晴らしかったです。その風景が印象に深く残っているので、永遠に見続けることができます。

さらに、様々な体験(お抹茶、座禅、もちつき、温泉)をしたり、神社を訪れたり、富士山世界遺産センターを見学したりしました。それは本当にいい勉強になりました。

ホームステイの家族と過ごしていた時間も楽しかったです。大嶽さんはとても優しく、私に富士山、沼津の有名な食べ物などのこと色々な話をしてくれました。そして、大嶽さんに「一期一会」という四字熟語を教えてもらいました。その言葉は富士山の旅行の表現になりました。今もその言葉を大切にしています。

ふじのくに留学生ツアーはとてもいい思い出になりました。ガイドさん、ホームステイの家族に感謝の気持ちを伝えたいです。

# ACTIVITIES

## 大学入学式で

### 「支援の会」加入を呼びかけました

鮎澤会長と4名の留学生が、4月7日、入学式の日実施された保護者向け説明会に登壇して、留学生支援の会入会を呼びかけました。

その場で申込みになった方が30名を超えました。



入学式でのアピールのため集まったスタッフ&留学生



一緒に登壇してくれた留学生



## ご入会・ご寄付、ありがとうございます

### 新規加入者

#### ■一般会員(敬称略)(平成30年2月1日～6月10日)

相原かれん 青柳修次 秋野良平 秋庭千皓 浅治こころ  
阿部真祐子 安部佳史 荒井浩 荒谷智恵子 安齊慶則  
池田師司 池田真理子 池田洋子 井澤美雪 石川航  
石崎柚子 石田優子 磯部信一 市川義之 伊藤寛  
伊藤秀明 伊藤源由 稲葉孝金 井上博文 井上瑞波  
今本哲郎 石橋雅高 岩本佳子 梅田誠 颯川雅洋  
江川真悠子 大内雄二 大浦真由子 大年慶子 大西達貴  
大森恵子 大山真生 緒方一平 岡田友汰 岡本光正  
沖田浩 荻田幹夫 蠣崎裕 片岡剛弘 勝山円佳  
神藏正信 亀澤康文 川上嘉絵 川口凱 河津弥  
菅野修子 菅野保 城戸優作 國裕麻奈 久保寺靖彦  
久保葉子 熊本光男 黒澤琴音 小池章一 小池紀子  
小泉英二 古賀久貴 小島和恵 小島一洋 小林妙子・彩夏  
小林廉 近藤雄太 斎藤智草 齋藤玄人 齋藤優梨乃  
斎藤理沙 阪上篤子 坂本江利香 坂元響 佐々木由規子  
佐藤貢悦 佐藤裕子 島崎顕慈 下間久美子 下宮杏奈  
下村幸 白石英二 菅井裕美 菅野秀樹 菅野雅之  
杉浦朱門 鈴木明宏 鈴木剛士 須之内泰二 関根研一  
當麻舞美 平響佳 高井美登里 高橋克則 高橋実央  
高橋義則 田川美由紀 滝鼻日向子 田口高弘 武井眞  
武成祥 田中皓也 田中七海 田邊純子 谷川光政  
田上凜太郎 玉井利沙 玉島さやか 土田妃斗美 露木安子  
ツルーポフ真輝 鶴田昌司 寺島貞樹 土居健登 土居奈津子  
戸上茂典 内藤奏汰 永井佐代子 中沢馨 中島ひな子  
中平彩子 中村尚雄 中村均 中村亮太 中矢尚  
中山良一 永谷美優莉 新名弘章 新原未来 西谷美穂  
西村光誠 二瓶竜史 野村俊幸 橋尾飛鳥 長谷川佳世子  
長谷川洋 花尾千紘 羽成文子 馬場萌生 浜口弘之  
林亜美 東大晴 日比野浩 廣瀬瑞帆 深澤篤  
福田英美子 藤野俊彦 堀内範子 堀場弘喜 堀春佳  
本田典之 本多優 本間瑠璃 町田幸枝 松尾祥  
松尾俊之 松田健太郎 松本航輝 松山伸広 丸尾素子  
三井誠 宮川敦 三好崇成 室園美智博 森聡美  
森田哲矢 森田美穂 森本亘 森友梨奈 村椿泰彦

諸見里杏 山内麻友子 山碯彩貴 山下浩二 山下剛司  
山下めぐみ 山田哲也 行入正彦 吉澤愛海 吉田聡子  
吉田尚弘 吉原信子 和島由穂子 渡部公一

## 幹事会

下記のとおり幹事会を開催しました。

平成 30 年 4 月 1 日 (日)

平成 30 年 5 月 6 日 (日)

平成 30 年 6 月 10 日 (日)

### 寄付者

■一般寄付(敬称略)(平成 30 年 2 月 1 日～6 月 10 日)

五十幡圭右 大島勇次郎 佐藤桂子 末次透 野中千恵子

箱崎洋子 松下宗柏

※異体字のために正しく表記されない場合がございます。  
※万一お名前に間違いがありましたらお詫びいたします。その節は、当会までお知らせくだされば幸いです。印刷できない外字等、ご了承ください。

6 月 10 日現在  
会員数：1,094 名

すべての活動は、皆様の年会費とご寄付で行われております。本年度会費を同封の振込用紙にてお振込くださいます様お願い申し上げます。

※ ひとりでも多くの方々の納入のご協力をお願い致します。

一般会員：年会費 3,000 円

協賛会員：年会費 20,000 円

### 会員の皆様へ ホームステイ受け入れのお願い

新しく留学生のホームステイを受け入れてみたいとお思いのご家庭がございましたら、下記までご一報ください。登録しておき、希望者がありましたら連絡いたします。

連絡先：留学生支援の会

電話：042-330-5803(午後)

### お問い合わせ先

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学 留学生課気付 留学生支援の会

TEL：042-330-5183

FAX：042-330-5189

©Copyright 2018, TUFUS International Student Support Association



大國魂神社くらやみ祭に参加した東外大留学生

## 秋期バザー開催のお知らせとバザー用品ご寄付のお願い

開催：9月27日(木)～9月28日(金) ※2日目の28日は日本人学生も歓迎します

場所：国際交流会館2号館交流ホール

留学生に毎回大好評の秋期(9月期)バザーの開催に向けて、受付期間をご確認の上、バザー用品のご準備、ご手配をお願いを申し上げます。

### バザー用品受付期間

9月18日(火)～9月23日(日)

### お送りいただきたい物品

- 各種辞書類など
- 台所用品(小型の鍋、フライパン、電気炊飯器、レンジ、トースターなど)
- 日常生活用品(自転車、鏡、タオル、毛布、布団、食器、衣類、電気製品(一人で持ち運び可能なもの)、保存のきく食品など)

※一人で持ち運びが不可能な大型電気製品については、電話で事前にご連絡をお願いします。

※衣類や布ものは、新品同様またクリーニング済のもの、できれば若い学生向きの春・夏物を希望します。

■国際交流事業の一環としての「着物・着付け」用男性羽織・袴一式、振袖、帯など

※古着可、ただし使用可能なもの

### 送付先

東京外国語大学 留学生課気付 留学生支援の会  
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
TEL:042-330-5803(午後)

### 送料

宅配便等で品物をお送りいただく場合には、恐れ入りますが、送料のご負担をお願いいたします。お手数ですが「午後便」をご指定ください。



## JOIN FOR BAZAAR!



※バザー用品の搬入に関する事等お問い合わせ、当日のお手伝い・参加可能な方のお申し出は事前にご下記までお電話下さい。

東京外国語大学 留学生課気付 留学生支援の会  
TEL:042-330-5803(午後)

**WE NEED YOUR HELP!**

お願い：バザーの人手が足りません！皆様のご協力をお願いします！

バザー用品の物品仕分けや、事前準備・後片付けをするご協力をお待ちします。

# 東京外国語大学 留学生支援の会

No.59  
年3回発行

Since 1999

## 会報

会員の皆様、ホームステイやバザーにご協力ありがとうございます。  
留学生から感謝の言葉が多数届いております。

Pick Up  
Event 2018

留学生支援の会の幹事になってくださる方はいらっしゃいませんか。  
興味のある方、幹事の役割につきまして当会までお電話でお問い合わせください。

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学留学生課気付 TEL 042-330-5803 FAX 042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

## INSIDE

- Page 1. 1. 巻頭言  
顧問 笹岡太一
- Page 3. 2. ご挨拶  
副会長 岡田昭人
- Page 3. 3. 活動報告
  - 3-1 歌舞伎鑑賞教室
  - 3-2 秋期バザー  
シュー スウエ ルウ
  - 3-3 ICUでの能学鑑賞教室  
チョウ キゲイ
  - 3-4 国際理解教育
- Page 8. 4. 留学生の活動  
台湾開催学会に参加  
梁奕華
- Page 10. 5. これからの活動  
国際交流のタベ

## FOCUS

### 1. 巻頭言

### 英語にまつわる話、あれこれ (思い出のハフニング)

留学生支援の会顧問  
笹岡太一

私は、卒業後70年もの長きに亘り教育の国際協力の仕事に携わってきました。その間、英語に関して思わぬハフニングを経験したり、ハフニングの経験談を伺ったりしました。その中には、英語としては正論ではありませんが、真面目に対応して、事なきを得たこともありました。

そこで、今となっては参考になるかどうか分かりませんが、昔は大へんたうたのだから、と御笑覧いただきたく、思い出のハフニングとして、ペンを執った次第です。

## オートロックドアのことを知らなくて

当学の教授を兼ねて、文部省（現文部科学省）の調査課長の職に就かれていた伊藤良二先生（故人）が、第二次世界大戦後の連合国支配下の昭和 25 年（1950 年）ナショナルリーダーに選ばれて、アメリカ教育視察に出張されました。ニューヨークの YMCA ホテルの 14 階の部屋に着いたときのことです。

部屋の向かい側にあるシャワールームへ、鍵を持たずにパンツ 1 枚で行き、疲れを癒してから、部屋に戻ってドアを開けようとしたらビクとも動きませんでした。（その頃日本人はオートロックのドアがあることを知りませんでした。）

そこで伊藤先生、1 階の受付へ行き別の鍵を借りようと思ってエレベーターの方を見ると、そこには数人の女性が賑やかに話しています。「これはまずい」と廊下の端にある非常口（Fire Exit）の戸を押して外に出ると、2 月のニューヨークは寒風吹き荒れており、パンツ 1 枚では耐えられないので戻ろうとしたら、非常口もオートロックでした。

やむなく非常階段を下りて石炭置き場の上に跳び下りたところ、ホテルの受付はビルの反対側であり、そこへ行くには繁華街をパンツ 1 枚で通り抜けなければならない。そこで伊藤先生、「Japanese marathon」と言いながら一気に走り抜けて、ホテルの受付に着くや否や「A key is in my room. I am out of the door.」（鍵は私の部屋にあり私は部屋の外にいる）と言われたそうです。



受付の人はすぐに事情を理解し、鍵を渡してくれて、上着も貸してくれました。

伊藤先生は複雑な説明をするよりも、とっさに分かりやすい表現としてこのような英語を話されたのだと思います。

## トイレが詰まって英語も出てこない

次は私のことです。今から 50 年くらい前に、アメリカの大学入試制度調査のため首都ワシントンを訪れ、アメリカーナというホテルに泊まりました。

部屋に入ってまずトイレで用を足し、ボッチを押したところ、管が詰まっていたらしく、あっという間に水が溢れて床まで水浸しになってしまいました。あわてて受話器を取り上げましたが「管が詰まっていて水が溢れ出た」という英語が出てきません。苦しまぎれに「My toilet is flood.」（私のトイレは洪水です）と叫びました。

電話の向こうで「OK」という返事があり、バケツとモップを担いだおじさんがやって来て、きれいにしてくれました。あの頃は 1 ドルが 360 円の時代ですから、安いホテルにしか泊まれなかったゆえに出会ったトラブルだと思います。

## 靴磨きをシュークリームと勘違い

インドネシアの教育科学技官だったマカギアンサ氏（故人）を案内して、広島で日本旅館に泊まったときの事です。部屋の前で旅館の従業員の方が、困った顔をしながらマカギアンサ氏の話すことを聞いているので「どうしたのですか」と尋ねました。

「この外国の方がシュークリーム、シュークリームと言われるのです。日本旅館にはシュークリームがないことをわかってもらえないみたいです」とのことでした。そこで、私からその旨をマカギアンサ氏に英語で伝えたところ、次のような言葉が返ってきました。

「私は chou a la crème（シュークリーム）

とは言っていません。shoes cleaning (靴磨き) してくださいと言ったのです。」



「シューズは食べられませんね」と大笑いして終わりました。

## 2. ご挨拶

### 「遊学」のすすめ

留学生支援の会副会長  
岡田昭人  
大学院 総合国際学研究院 教授

留学生の皆さんこんにちは！  
東京外国語大学ようこそ！

9月に来日された人は、今まさに希望と緊張に胸を膨らませながら新学期を迎えられ、勉学に励んでおられるでしょう。

さて皆さん、日本語には「留学」と「遊学」という表現があるのをご存知でしょうか。どちらの言葉ももともとは「国を離れ外国で学ぶ」という意味で使われています。現在では「留学」の方が一般的で、「遊学」は「あそぶ学」と書くのでなんだか少し不真面目な印象がもたれるかもしれませんが、ですがこの「遊学」も大切な学びの一つです！

これら二つの言葉をあえて別の意味で使うなら、皆さんがそれぞれの出身国から日本にきて勉強することが「留学」。「遊学」は東京外国語大学のキャンパスを離れ日本国内の様々な場所で

「遊び心をもって」有意義かつ楽しい経験を重ねることだと思います。実は英語の school (学校) の語源はギリシャ語の“scholē” (余暇) で、それを「遊び楽しむ」ことなのです。

日本は狭い国ですが、地方にいくと東京とはまったく異なる文化が根づいていることに気づくでしょう。例えば食べ物一つとっても「関西と関東ではうどんやおそばのおつゆの色や味が違う！」等々。また各地で人々が使う方言も独特の表現やイントネーションがたくさんあり、決して教科書では学ぶことができない生きたコミュニケーション体験ができるでしょう。

実は私も米国と英国への二度の長期留学経験があります。その間たくさんの「遊学」をしたので今の自分があると思います。「よく遊びよく学べ！」をモットーにして日々学生たちと学習に取り組んでおります。

留学生支援の会では他県への小旅行や歌舞伎見学などバラエティーに富むイベントが実施されています。また世代の違う人々との交流もあり、その意味ではまさに「遊学の宝庫」です！

留学生の皆様、ぜひ留学生支援の会の活動に参加してたくさんの「遊学」をしてください！

## REPORT

### 3. 活動報告

#### 3-1 歌舞伎鑑賞教室の報告

日時:2018年6月3日(日)午後2時~4時30分  
場所:国立劇場  
参加者:学生59名(日本人学生含む)

国立劇場の歌舞伎鑑賞教室に行ってきました。

留学生の日本の伝統文化、歌舞伎に対する関心は毎年高いです。最初は募集に苦戦しましたが、最終的に目標の60名にあと一步まで迫りました。

国立劇場の場所は、皇居のお濠に面した静かな

環境で伝統的な演劇を鑑賞するのにふさわしい場所です。劇場に足を運ぶだけでも貴重な留学体験となったでしょう。

最初に歌舞伎の見方の説明がありました。

歌舞伎にはいろいろな決まりや習わしがあるので、歌舞伎を理解するためにはそれらのある程度知っているとおもしろく見ることができます。そこで若手の役者による歌舞伎の見方のわかりやすい説明が最初に行われることが、歌舞伎鑑賞教室が、初めて歌舞伎を見る人に向いている所以でしょう。

観客の中から2名の女性が舞台上に招かれて、即席で歌舞伎ならではの動作を演じたことが、場内の雰囲気を大いに盛り上げました。

芝居「連獅子」を観賞しました。

この芝居のテーマは父と子の愛情です。白毛の親獅子の精と赤毛の仔獅子の精が長い毛を振り乱して舞い遊ぶシーンが見どころでした。

今回のような台詞のやりとりがあまりないお芝居では、留学生が歌舞伎独特の雰囲気を味わうことができたでしょう。

館内のレストランでコーヒーを飲みながら懇談。

いったん表に出て全員の記念撮影をしてから、国立劇場の中にあるレストランへ移動してコーヒーとケーキを楽しみながら懇談しました。歌舞伎は初めて見たけれど興味を持ったとか、私の国にも伝統的な芝居があるとか、多様な話し合いが交わされたので、留学生同士の友好を深めることにも寄与することができました。（幹事：近藤）



国立劇場の前で



← →  
鑑賞後劇場内の  
レストラン  
にて





### 3. 活動報告

#### 3-2 秋期バザー

2018年秋期バザーへのご協力  
ありがとうございました

今年の秋季バザーを、9月27、28日の2日間、交流会館2号館の交流ホールで開催。およそ250名の留学生と数名の日本人学生が参加しました。

バザーの収益金は、250,000円でした。

#### バザーに参加してよかった

シュー スウェルウ (台湾)

留学生支援の会がこのバザーを催すことに本当に感謝します。台所用品、電気製品から衣類までいろいろなものがそろっていました。日本に来たばかりの留学生にとって、この秋季バザーはすごく実用的なイベントでした。

バザーのスタッフさんはみんな優しいし、商品が安かった。私は、タオルやホットポットを買いました。そして、中古自転車の抽選に応募しました。自転車が当たりましたと告知されたとき、私は本当にうれしかったです。

このバザーに参加してよかった。留学生支援の会の皆様、ありがとうございました。

バザーの初日は小雨でしたが、傘をさして並んでいるのにビックリ。開始が少し遅れましたが、開場と同時に100人以上が入場！暫くすると購入する品物を決めた皆さんが列をなし、袋に詰め込む係が大忙し、大活躍でした。

本が無料と知って学生達は大喜び！以上、1日目のレポートです。(会長：鮎澤)

初日当番だったので、ボランティアの皆さんに感想を聞いたところ、バザーに来ていた学生さんの「お行儀が良かった」という感想がありました。

確かに！

私達は商品を展示する時に、お店で買い物する感覚で楽しめるようにをモットーにしています。

1日目に沢山の商品が売れました。その後でも、会場が美しく保たれていました。あまりぐちゃぐちゃ感が無かったです。

私達もですが、学生さんも商品を大切に、丁寧に扱って下さった結果でしょう。出番の少なかった商品が、また新しい持ち主の元で大切な役割を担うと思うと何だか嬉しいですね。(幹事：小平)



今年も初日の炊事用品部署にて対応しましたが、鍋(少し多かったかも)フライパン類に購入者が殺到し、今年も早い時間にてほぼ完売しました。ここにて他に電気ケトル、炊飯器、布団所望の声がありましたので、希望商品は大体例年通りでしょうか。鍋フライパン類も事前に値札をつけておいたので、その分サポートはラクでした。

冬物衣類は時期的に外語祭あたりで必要感が出てくるとも思うので、うまく持ち越して譲渡できるとよいですね。(幹事：山崎)

初めて参加したバザーでは、鍋や布団の中古の物を提供するのにはちょっと躊躇するところがありました。申し訳無い気がして・・・

寄付して下さる方も同じ気持ちだと思います。でも留学生は案外気にしていないみたい。かなり使用感のあるものも、喜んで持って行ってくれます。

その辺のところを、会報で上手く伝えていただけるとよいと思います。(幹事：佐久間)

今回のバザーは今までになくスムーズにいった  
気がします！だいたいの物に値段がついていたた  
め大した混乱もなく終わりました！

衣類に関しても最初にラックにかける前にアフ  
リカに送る物、外語祭に回す物、処分する物と分  
けておいたのも良かった！普段売れない男性用着  
物が2着売れ、ワイシャツも売れました！今回は  
お米の寄付が少なかったのが残念でした！

2日目は日本人学生もどうぞと言っても殆ど知  
られてない様ですね。(幹事長：井上)

オープン前から行列が出来、相変わらずの大盛  
況でした。売り場がちょっとしたセレクトショッ  
プのようでオシャレで見やすく留学生も楽しみな  
がら買い物をしていたように思います。

やはり春のバザーに比べてこれから寒い冬に向  
かう秋のバザーは寝具類がよく売れたようです。

本当に日常に使う物は中古品だとチョットと思  
いますが留学生は気にしないみたいで、100円シ  
ョップやホームセンターよりもやはりかなり安い  
のでドンドン買っていきました。

送料も厭わず品物を送って下さる方々、準備、  
当日、後片付けと支援の会の会員のご協力があっ  
て成り立つバザーですが今後とも続けられる事を  
願ってやみません。

日本人学生への告知は今後工夫する必要がある  
そうですね。(幹事：北村)

### 3. 活動報告

#### 3-3 ICUでの能楽鑑賞教室

日時:2018年7月7日(土)午後1時30分開演

場所:国際基督教大学D館

参加者:留学生10名、幹事6名

開催経緯:主催者から鮎澤会長に、学生無料の招待  
がありましたので、留学生にポスターやメールで案内。  
参加留学生の点呼や引率を行ないませんでした。

#### 3-3-1 ICUサマースクール 能「葛城」を見学して

七夕の日、ICUの庭の緑に導かれ、私にとって  
は数回目のお能体験。

お能は現代人には、馴染みが少ないと思います。  
今回は、スクールという名前どおり、演目[葛城]  
の時代背景、お能の歴史などのスライドレクチャー  
が30分程あったので興味が広がりました。お能  
から歌舞伎の発生までに、なんと400年の時間差  
が有るそうです。

また仏教の考えには女に生まれただけで5つの  
原罪がある？！

そのために葛城は、夜な夜な一人で岩橋を作る  
苦行を与えられていた。それが出来ずに罰として  
葛蔦で縛られているという前振りがあったが、女  
の[5つの原罪]という言葉に、現代のジェンダー  
問題を連想した私。

このようにお能から、何で？どうしてこうなる  
のか？と感じ、考えて欲しいと、講師の佐藤友理  
先生は話しました。

太鼓と鼓と笛の音が涼やかに始まりを告げ葛城  
が登場しました。謡いと葛城の舞いは暫し、現実  
から遠い所に私を連れて行ってくれました。

終演後、葛城シテ(女神)役の中村一路さんと  
佐藤友理さんへの質問時間がありました。

葛城の中村一路さんは、重い唐織の上着を着て、  
面、鬘(かづら)、などを着けて舞うため、一幕終  
えた後は体重が1キロほど減るそうです。

また、亡霊が旅の僧や山伏の前に現れて、祈祷  
(きとう)して貰い成仏するパターンのお能の7~8割  
だそうですが、葛城の場合は、岩戸に入  
ってしまい、成仏したかわからないその終わり方  
が珍しいそうです。

また、位の高い人が亡霊と成り、さまよい、成  
仏するまでのお能の舞台を観る事で、観客はカタ  
ルシスを体験するのではないとも言われました。

お能は私にとって忙しい毎日の時間の流れを忘  
れさせる大切なひとときとなりました。

(幹事：高橋京子)

### 3-3-2 初めて能を見ました

#### ISEP チョウ キゲイ (中国)

今回初めて能を見ましたが、歌舞伎と全然違う感じがします。

先生から聞いた話では、歌舞伎は江戸時代より庶民の娯楽として発展してきた一方、能は代々の室町将軍に好まれて、江戸時代を通じて「武士の芸能」として受け継がれていきました。

だから、能は歌舞伎より敷居が高い気がします。能の特徴は、主役の役者が能面をつけます。基本的に能面をつけている人は、この世のものではないものとされています。

その表情は全然見えなくて、笑っているか泣いているか全然わからなくて、動作や謡でしか判断できません。

とても面白かったです。そして、物語自体もとても意味深長です。女神はどんな存在であるか。なぜ女神は自分の容貌をそんなに大事にするか。いろいろの疑問が残って観客に考えさせます。

最後に、一番印象深いことはディスカッションの時、主役者が話した能を演じる時に使うエネルギーについてです。10キロも走ったような疲れでした。この話を聞いて私はびっくりしました。

役者の大変さが感じられました。やはり、役者は能が好きだからこそ素晴らしいパフォーマンスを見せるのではないのでしょうか。

## 3. 活動報告

### 3-4 国際理解教育

#### 町田市の中学校へ留学生5名を幹事が引率

経緯:町田市立真光寺中学校から「アジアの国々を知ろう」というテーマで、留学生に話をしてほしい旨依頼がありました。それに応えて留学生(中国3名、韓国2名)を幹事が引率しました。

### 真光寺中学校「国際交流の日」付き添い

6月30日、町田市立真光寺中学校へ、木全さん夫妻と、講師として招かれた留学生5名に同行しました。朝8時京王線若葉台駅に集合、場所が不便なため駅から学校まではタクシーで行きました。

行事は講堂での全体会から始まり、開会の挨拶、講師の紹介、邦楽部による琴の歓迎演奏等が順に行われました。その後分科会ごとに教室へ入りました。東京外国語大学の留学生は2班に分かれ、一年生の分科会に参加しました。「アジアの国々を知ろう」を共通テーマにして、次の話をしました。

- 1班 ショウさん「中国のお正月」  
ホンさん「どこでもドアで香港に行ってみよう」
- 2班 キムさん「韓国中学生の生活」  
パクさん「韓国食文化、観光」  
ソンさん「中国書道芸術を楽しみましょう」

その他“インドネシアの紹介”“ラオスの農村から学ぶ幸せのカタチ”“ベトナムの歴史、文化、学校生活の紹介”など様々でした。また、二年生は「世界の国々を知ろう」、三年生は「日本の文化、伝統を知り、世界とのつながりを考えよう」等、学年に応じたテーマで行われていました。

分科会への付き添いは、木全さん夫妻が1班、私が2班を受け持ち、私が見学したクラスは最初にキムさんが昨今の韓国の中学生事情を紹介しました。モニターで画像を映しながら韓国の中学校の制服紹介、クラブ活動は日本ほど盛んでなく放課後は塾に行くこと、遊びとしてはPCパンという店で友達とゲームする等。

次にパクさんが韓国料理、観光、高速鉄道の紹介をしました。料理の画像はすでに日本でもお馴染みのものや、全く馴染みのない珍しいものなど、美しく興味深いものでした。高速鉄道 KTX の紹介では「運賃は日本の新幹線よりかなり割安、是非韓国へ遊びに来て体験して下さい」と話していました。

最後に中国からの留学生、ソンさんが、中国書道についての講義を行い、実際に書いて見せてく

れました。彼女の書いている手元をカメラで撮影、それをモニターに映し出しました。講義時間は全部で90分、1人の持ち時間は30分でしたので、ソンさんの場合、準備に手間取り、講義の途中で中断せざる得ない状態になったことは残念でした。

最後に彼女が手書きの扇子を学校に贈りました。一年生にとって初めての経験、積極的に手を挙げて質問する場面までは見られませんでした。来年、再来年と、このイベントを通して世界に興味を持ち、彼等の目が外へ向いて行くことを願っています。

この日のために留学生を含む沢山の講師、中学校、PTAが周到な準備と入念な打ち合わせを行って実現した行事でした。関係者の熱意と準備に要した時間に頭の下がる思いです。

(幹事：小平京子)

## 町田市立真光寺中学校 国際交流の日に参加

6月30日(土)、5名の留学生の方たちと町田市立真光寺中学校の国際交流の日に参加してきました。中学校1年生を対象として、もう40回以上にわたって実施されているそうです。

体育館でたくさんの中学生に迎えられ、お琴の演奏など聞いた後、各教室に分かれて、留学生に各国の文化についてお話ししてもらいました。私は中国からの留学生のJiao Jingwenさんと香港からの留学生のHon Wanさんのグループ(1班)に参加しました。

Jiaoさんは中国のお正月について紹介してくれました。お正月の食べ物や習わしについて工夫を凝らしたパワーポイントの資料に、中学生たちは真剣に見入っていました。そして、中国のお正月には欠かせない装飾品の「切り絵」に挑戦。みんなとても楽しそうでした。1枚の折り紙からきれいな模様が出来上がって、みんなから歓声が上がりました。

Honさんは、「ドラえもん『どこでもドア』で香港に行こう!」と題し、香港の様々な風景を紹介してくれました。香港というと摩天楼が立ち並ぶ大都会というイメージがありますが、多くの島

があり、緑濃い山々や入り組んだ美しい入り江の眺めなど、自然にも恵まれていることを知りました。中学生の中には、香港に行ったことがあると言う生徒もいましたが、自然豊かな香港のことは初めて知ったようです。そして最後に、Honさんからサプライズ!胡弓の生演奏を聞かせてくれました。その見事な演奏に、中学生も私もうっとり聞き惚れました。

発表の後、中学校が用意してくださったお弁当をいただきました。お弁当のメニューがいろいろな国の言葉で紹介されており、中学生の皆さんが一生懸命調べて書いてくれたとのこと。お弁当が一層おいしく感じられたのではないのでしょうか。

とても暑い日でしたが、留学生の皆さんも、勉強などで忙しい合間に、丁寧にご準備いただき大変だったことと思いますが、とても楽しかった、こういう機会があればまた参加したいと話してくれました。中学生の皆さんにも心に残る1日だったと思います。ありがとうございました。

(幹事：木全玲子)

# VOICE

## 4. 留学生の活動

### 台湾開催、和漢比較文学会特別例会に参加

博士課程後期4年 梁奕華(中国)

8月29日から9月4日にかけて、台湾に行き、和漢比較文学会第11回特別例会(2018年度)に参加した。8月29日から9月1日まで学会に参加し、その後の二日間で故宮博物館や台北での媽祖廟を見学した。

#### ★学会参加(2018年8月29日~2018年9月1日)

##### ○研究交流会：

8月29日(水) 18:00 研究交流会

##### ○研究発表会：

8月30日(木) 9:50 開会

8月31日(金) 10:00 開会

会場：台湾大学文学部国際講演ホール

### ○エクスカッション：

9月1日(土) 8:30 台湾大学正門前集合

今回は海外特別例会なので、発表者が多くて、研究発表が二日間いっぱいだった。私の発表は、31日午後の最後のセッションに配された。発表時間は質疑応答を含めて30分以内。和漢比較文学会の国内例会であれば、発表時間は質疑応答を含めて55分か1時間である。発表者たちは海外例会の発表時間に慣れないか、みな多少オーバーした。

最後のセッションは予定時刻よりだいぶ遅れてしまった。私の番になったら迅速に原稿を読み上げた。幸い発表原稿をきちんと書いておいたので、大差なく発表を終わることができた。

今回は「島田忠臣の「分」意識」というテーマについて発表した。島田忠臣は菅原道真の岳父と詩友として知られており、一般的に、俗世間に背を向けた風月詩人として認識されている。しかし、彼の詩作における「分」という字の使い方は独特で、彼の官職への希求を表していると思われる。

今回の研究を通して、彼はまったく上昇意欲を持っていないというわけではないと指摘でき、彼の人物像をより豊かに描いたのである。

発表の後、和漢比較文学会の元老とも言える新聞一美先生からいろんな意見をいただき、大変勉強になった。

当日の懇親会では、昔忠臣の詩集『田氏家集』を注釈した新聞一美先生や丹羽博之先生は、『田氏家集』は若いから注釈したもので、ちゃんと考えていなかったこともあるとか、若い世代に期待すると話し、励ましをくださった。

また、この度、以前修士の時からお世話になっている中国同済大学の李宇玲先生にもお会いできた。李先生は『源氏物語』と「秋興賦」というテーマについて発表した。とても新味のある発表で、新聞先生も大変評価した。

エクスカッションの後、李先生から晩御飯をご馳走になった。中国国内の日本研究の状況と就職の状況についていろいろと聞かせていただいた。現在は博士後期4年目で、将来を考えると不安だ

が、現段階では博士論文執筆に集中するしかない。

エクスカッションとして、淡水・八里・石門方面に行き、儒・釈・道の三教を混ぜた廟を回った。台湾は民俗信仰のあつところだと以前から聞いてきたが、この度は実感した。

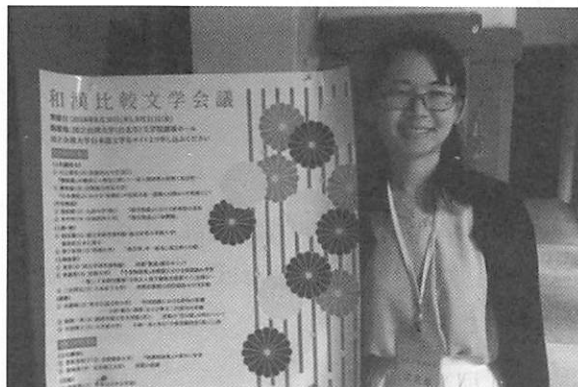
### ★現地見学

9月2日と3日の二日間は個人活動であった。2日の昼間は故宮博物館に、夜は台湾で有名な本屋の誠品書店と茉莉書店に行った。茉莉書店は中古の書籍を販売する本屋である。そこで台湾の歴史に関する一冊を購入した。また誠品書店では、中国国内で出版禁止の劉曉波の本を二冊購入した。本屋を廻ってから、有名な寧夏夜市に行き、台湾の屋台文化を体験した。

台湾は民俗信仰の厚いところである。3日には台北で有名な媽祖廟とお寺を見学した。午前中は士林にある媽祖を祭る慈誠宮に行ったが、ちょうどこの間には中元節・お盆(旧暦の7月15日)の行事が行われ、信者が多く集まり、近所の人々もイベントの手伝いに来た。その後、月老(婚姻をつかさどる神)を祭る有名な霞海城隍廟に行ったが、そこも中元節のイベントでにぎやかだった。

午後は台北西門の近くにある龍山寺に行った。中元節のイベントとして、信者たちは自発的にお経を唱えていた。お経を吟唱する声はとて大きく響き、その場面はとて壮大であり、とても感動した。最後の夜は繁華街の西門町を回って、翌日に帰国した。

今回、留学生支援の会の御蔭で、台湾に学会参加ができて、衷心より感謝する。初めて台湾に行き、いろいろと体験できて大変満足した。



# ACTIVITIES

## 5. これからの活動

「国際交流の夕べ」  
12月7日(金)

今年も！留学生との交流を是非お楽しみください。

日時：12月 7日(金) 18時～20時  
会場：大学会館 1F ホールダイニング  
費用：無料

※なお、午後1時より、着付け・書道など日本の伝統文化体験をそれぞれの会場で実施します。

### ご入会、ご寄付 ご協力いただき、ありがとうございます

#### 新規加入者

■ 一般会員(敬称略) (平成30年6月11日～10月20日)  
秋澤由紀子 藤森遥斗 星名廣志

#### 会員寄付者

■ 一般寄付(敬称略) (平成29年7月13日)  
板久恭子 小島照恵

※上記ご両名様から昨年ご寄付を頂いたにも関わらず氏名記載が漏れておりました。失礼を深くお詫びして当号に掲載いたします。

■ 一般寄付(敬称略) (平成30年6月11日～10月20日)  
五十幡圭右 板久恭子 井上東一・久美子  
大塚定 大原泰樹 小倉祐子  
河野喜代子 北村みどり 拳市玲子  
小島照恵 坂本恵 新堂睦子  
鈴木文子 鈴木正道 寺田朗子  
長谷川雄一 本望春夫 宮井捷二  
山岸隆夫 横石邦彦 吉田展子

※万一お名前に間違いがありましたらお詫びいたします。その節は、当会までお知らせくだされば幸いです。印刷できない外字等、ご了承ください。

## 平成30年度 会費納入のお願い 平成31年3月31日まで受付

※来年度の活動ご支援いただくために、是非会費納入の「ご継続」をお願い申し上げます。納入をお忘れの方は本年度会費を同封の振込用紙にてお振込みください。

### 幹事会

下記のとおり幹事会を開催しました。

平成30年 7月22日(日)  
平成30年 9月22日(日)  
平成30年 10月28日(日)

**10月20日現在**  
**会員数：1,273名**

すべての活動は皆様の年会費とご寄付で行われております。本年度会費を同封の振込用紙にてお振り込みくださいます様、お願い申し上げます。

一般会員：年会費 3,000円  
協賛会員：年会費 20,000円

#### [お問い合わせ先]

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学 留学生課気付 留学生支援の会  
TEL：042-330-5803 (午後)  
FAX：042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

©Copyright 2018, TUFS International Student Support Association

# 東京外国語大学 留学生支援の会

No.60  
年3回発行

## 会報

Since 1999

春のバザー開催！3月25日(月)～3月31日(日)バザー用品募集します！  
ボランティア募集！バザーの準備や当日販売を行う人手が足りません。

Pick Up  
Event 2019

留学生支援の会の幹事になってくださる方はいらっしゃいませんか。  
留学生の笑顔を作る活動です。興味のある方は当会までお電話でお問い合わせください。

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学留学生課気付 TEL 042-330-5083 FAX 042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

## INSIDE

- Page 1. 1. 巻頭言  
立石博高 (東京外国語大学長)
- Page 2. 2. ご挨拶  
鮎澤孝子 (留学生支援の会会長)
- Page 3. 3. 活動報告
  - 3-1 東京下町文化体験ツアー  
竹内幹事 (留学生支援の会)  
オットン (ブラジル)  
井上一将  
Sami Nassour
  - 3-2 国際交流事業  
井上幹事長 (留学生支援の会)
  - 3-3 外語祭バザー  
参加幹事 (留学生支援の会)
- Page 9. 4. これからの活動予定  
古都鎌倉見学ツアー
- Page 10. 春期バザーのお知らせ

## FOCUS

### 1. 巻頭言

### 学長退任を控えて Intercultural Campus 実現に期待する

東京外国語大学長  
立石博高

早いもので、この3月末をもって6年間の学長任期を終えて、本学を離れることになりました。この間、さまざまな改革に取り組んでまいりましたが、なかでも留学生(国際学生)と日本人学生の「IJ共学」は、ぜひとも実質的に深めていきたいと思った課題でした。

「共学」と言っても、それは教室内でともに授業を受けるといことにとどまらず、キャンパス・ライフのなかで「IJ」(International & Japanese Students)が交流し、相互の文化を理解しあい、異なる価値観を受け入れながらそれぞれに成長しあうということです。

幸いに、海外の卓越した大学との国際学術交流協定調印を積極的に進めることができ、現在(2018年5月時点)では、海外協定校の数は72ヶ国、203機関に及んでいます。

そして、留学生数は正規生 401 名、研究生 111 名に加えて海外協定校からの交換留学生も 182 名に達していて、その他を含めて 737 名が本学に在籍しています。本学の在学者数は 4,436 名ですので、約 17% が留学生となっています。

したがって、「IJ」の触れ合う機会も飛躍的に増えたのですが、やはり多くの日本人学生には恥じらいの気質が強く、彼ら・彼女らから留学生たちへの積極的アプローチはなかなか実現しません。そこで、学長就任と同時に学長特別補佐として「IJ共学」担当を創設しました。この間、その任に当たられた小林幸江先生、伊集院郁子先生には、うまい具合に仕掛けをつくり、TUFS 多文化交流コミュニティ、Language Exchange コミュニティなど多様な「IJ」交流の場をつくっていただきました。

国際交流会館 3 号館には、日本人学生と留学生がともに居住しており、館内でさまざまなイベントが行われています。研究講義棟内の English ラウンジと多言語ラウンジには、世界諸地域の言語の習得のために多くの留学生たちもつどっています。

1999 年に設立された留学生支援の会は、中嶋洋子様、笹岡太一様らの献身的なご努力によって、留学生への経済援助や留学生相互交流に関して継続的に事業を実施してこられました。そうした活動に対し、東京外国語大学としましてはほんとうに感謝の気持ちでいっぱいであり、あらためてお礼を申し上げます。

さらに留学生支援の会を一昨年引き継がれました鮎澤孝子様、勝又美智雄様、岡田昭人先生におかれましては、従来の活動を順調に引き継がれるとともに、「IJ」交流の意義をご理解いただき、日本人学生も巻き込むさまざまな活動を広げられているとお聞きしています。

最後にあらためて「IJ共学」の意義を再確認したいと思います。グローバル化のすすむなか、異なる文化的背景と価値観をもった人びとが混在し、混住する状況がますます社会全体に広がっています。

そうしたなか、ヨーロッパでは「インターカルチュラル・シティ・プログラム」が進められています。それは、移住者や少数者によってもたらされる文化的多様性

を、脅威ではなくむしろ好機ととらえて、都市の活力やイノベーションの源泉としようとする政策です。

本学の学生には、四年間の学びのなかで多言語グローバル人材としての資質を身につけて、異文化理解・多文化共生（インターカルチュラルリティ Interculturality）の実現に向けてリーダーシップを発揮してもらわなければなりません。本学の理念は「世界の言語・地域の理解を基盤とし、異文化間の対話と相互理解」をめざすことだからです。

そのためには本学で学ぶ学生たちすべてが、教室で異文化理解の授業を受けるだけでなく、キャンパス・ライフを通じて多文化間交流の具体的かつ貴重な体験を重ねることはきわめて大切なことでしょう。

本学のキャンパスが世界諸地域からの留学生（国際学生）と日本人学生がともに学ぶ「インターカルチュラル・キャンパス Intercultural Campus」となるよう、留学生支援の会にはこれまで以上にご支援・ご協力いただけますよう心より願っております。

## 2. ご挨拶

### 支援の会幹事全員の情報共有が大切

会長 鮎澤孝子

中嶋洋子前会長からのご依頼で留学生支援の会の会長を引き継ぐことになったということも 2017 年 6 月号の巻頭言で述べ、2018 年の 2 月号ではこれからは会長と 2 名の副会長とで交代で「ご挨拶」執筆を担当することになったと述べました。その順番がもう回って来てびっくりしています。

あつと言う間の 1 年間でしたが、留学生支援の会のいろいろな催しに参加させて頂き、留学生の皆さん、幹事の皆さんと楽しい時間をすごしました。

支援の会の活動は 20 名あまりの幹事の皆様がその都度、過去の企画の反省に基づき、企画案を練って、実施して来ています。

会長の私はなにもわからず、幹事の皆様にお任せしてきている次第ですが、支援の会の活動は様々な



事情で変わって来ていることも確かです。

大学の年間スケジュールが変更され、日程的に実施が困難になったりする場合があります。その時々で企画案を変更するのは当然のことですが、年間を通じてどのような企画、運営がなされているのか幹事全員が情報を共有していることが大事なことであることがわかってきました。

担当の幹事がわかっていれば良いというのではなく、他の幹事の皆さんにも知ってもらう必要があります。その企画についてはだれに聞いたらわかるのかなど、この支援の会についての全体がわかるようにしておきたいというわけです。

そのためにはこれまでの担当者にその企画運営について出来るだけ具体的にまとめてもらおうと思います。これを集めてファイルを作成し、だれもが必要な情報にアクセスできるようにしておきたいと思います。そうすることで、これまで担当して来た企画を他の幹事に交代してもらうことも可能であるようにしておきたいものです。

初めて話す国の留学生もいて、お国の話がとても興味深い。

隅田川は気候によって様々な表情を見せてくれること、江戸東京博物館は日本人にとっても興味深いところであること、ちゃんこ鍋店はお店によって味が違うこと等、私にもたくさんの発見があった。

5年間の間に東京外国語大学の学生であった娘は卒業して社会人となり、私もこの下町ツアーの担当から卒業する時が来た。

留学生支援の会の目玉のひとつであるこの企画がこれからも時代の流れや留学生の趣向に上手に寄り添いながら続いてくれることを願っている。

最後になってしまったが準備段階でたくさんの幹事の皆さんが支えてくださったことを心から感謝申し上げます。

(幹事 竹内)

東京下町文化体験ツアーの感想  
楽しかった。新しい友人をつくりました

キエモン・ツチャ・パリス・オットン  
(ブラジル)

### 3. 活動報告

#### 3-1 東京下町文化体験ツアー ～隅田川クルーズ、浅草散策、 江戸東京博物館、ちゃんこ鍋懇親会～

日 時 2018年12月2日(日)  
参加者数 留学生45名、日本人学生6名、  
幹事・リーダー11名：合計62名

毎年恒例の「東京下町文化体験ツアー」を、古き良き日本が残る下町を堪能しつつ、留学生間や、留学生と日本人学生間の親睦を深めるために実施した。

太古の昔から人を引きつけ続けるこの地には、私が初めて下町ツアーの引率をした時からさらに外国人観光客が増えているように思える。

このツアーは毎年行程がほぼ同じだが、参加する留学生は入れ替わり、ツアーの雰囲気は異なって楽しめた。

私はオットンです。ブラジルから来ました。  
浅草に行くのはとても楽しかった。  
新しい友人をつくりました。

日本人のリーダーと日本語と英語で話しました。英語で話せる日本人のリーダーはとてもよかったです。

このふねでさんぽはいいです。

私はこの日本料理が大好きでした。中国人も好きだったと思います。でも、私はレストランで、ロシア人とアメリカ人と話しました。それに、ロシア人とアメリカ人は食べましたけど好きじゃなかったかもしれません。多分、やきそばやラーメンやすきやきを作ったほうがいいです。

それに、たまえき(多磨駅)でみんなに会ったほうがいいです。一人でこの場所(日の出棧橋)に行くのはちょっとむずかしかった。

東京下町文化体験ツアーの感想

## 留学生の友達の輪を広げる

国際社会学部ベトナム語学科  
井上一将

留学生支援の会が主催する浅草ツアーのポスターを見た私はすぐに参加の申し込みをした。前年度も浅草ツアーに参加してそのコスパの良さに大変満足したからだ。前年度は隅田川クルーズ、浅草観光、そしてちゃんこ鍋で1500円という破格の価格設定であり、さらに留学生の友達も多く作ることができた。

参加の申し込みに行くと昨年度よりも名簿に記載されている名前が少なく、少し不安になったが当日参加してみると国際色豊かな参加者が揃っており、参加人数は結局去年と比べても遜色なかった。

ツアーの初めに日本人1人と留学生4～5人で1グループというグループ分けを行った。私のグループの内訳は中国人女性1名、香港人男性1名、ドイツ人男性1名、台湾人女性2名だった。

隅田川クルーズ中は歴史を勉強している香港人とドイツ人の学生と歴史談義で盛り上がった。特に香港

人学生の戦国時代への想いは凄まじく、毛利元就が好きだという話を熱く語り始めたため私は聞き手に徹した。そして浅草に近づきアサヒビール本社が見えると、留学生がその写真を一生懸命撮る姿が微笑ましかった。

浅草では自由行動で、主にリーダーである日本人学生が観光コースを考える。私はグループを浅草文化観光センターの最上階に連れて行き、浅草を一望できる景色を留学生に見せた。自撮りをしている学生が多くいたので、気に入ってもらえたのだと思う。

その後は仲見世通りを通って浅草寺に参拝した。また、留学生がおみくじに挑戦したところ、台湾人2名が凶を引いてしまった。がっかりする留学生を「凶が出ることは滅多にないから逆にラッキーだよ！」と励ましたことがつい昨日のようだ。

浅草観光後、昨年度にはなかった江戸東京博物館の見学があった。日本史好きな香港人が興奮していたことが印象的だった。

博物館の次はお楽しみのちゃんこ鍋。鍋を作ったことがない留学生がほとんどだったため、彼らが子供のよう鍋作りを楽しむ姿は見ていてとてもうれしかった。



浅草で船を降りて

## 春期バザー開催のお知らせとバザー用品ご寄付のお願い

開催：4月4日(木)～4月5日(金) ※2日目の5日は日本人学生も歓迎します

場所：国際交流会館 2号館交流ホール

留学生に毎回大好評の春期(4月期)バザーの開催に向けて、受付期間をご確認の上、バザー用品のご準備、ご手配をお願いを申し上げます。

### バザー用品受付期間

3月25日(月)～3月31日(日)

### お送りいただきたい物品

- 各種辞書類
- 台所用品(小型の鍋、フライパン、電気炊飯器、レンジ、トースターなど)
- 日常生活用品(自転車、鏡、タオル、毛布、布団、食器、衣類、電気製品(一人で持ち運び可能なもの)、保存のきく食品など)

※一人で持ち運びが不可能な大型電気製品については、電話で事前にご連絡をお願いします。

※衣類や布ものは、新品同様またクリーニング済のもの、できれば若い学生向けの春・夏物を希望します。

- 国際交流事業の一環としての「着物・着付け」用男性羽織・袴一式、振袖、帯など

※古着可、ただし使用可能なもの

### 送付先

東京外国語大学 留学生課気付 留学生支援の会  
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1  
TEL:042-330-5083

送料 宅配便等で品物をお送りいただく場合には、恐れ入りますが、送料のご負担をお願いいたします。お手数ですが「午後便」をご指定ください。



## JOIN FOR BAZAAR!



※バザー用品の搬入に関する事等お問い合わせ、当日のお手伝い・参加可能な方のお申し出は事前に下記までお電話下さい。

東京外国語大学 留学生支援の会  
TEL:042-330-5083(午後)

## WE NEED YOUR HELP!

お願い：バザーの人手が足りません！皆様のご協力をお願いします！  
バザー用品の物品仕分けや、事前準備・後片付けをするご協力をお待ちします。



ちゃんこ鍋を囲んで

東京下町文化体験ツアーの感想

**Thank you for organizing this successful event.**

**Sami Nassour**

Thank you so much for organizing this very successful event. I've always wanted to visit the Sensoji, Asakusa Temple especially with a group of friends! We had a lot of time exploring around. We had a lot of fun taking pictures.

Edo-Tokyo museum visit was another story. I felt like I traveled in time. I was amazed from what I saw there.

Thank you for the setting up. Many Thanks for the hospitality and of course the food!

とてもおいしかったです。

楽しかったです。



浅草寺 (Sensoji) ↑ ↓



## 3-2 国際交流事業

### 第1部 日本文化体験

日時 2018年12月7日(金)

第1部 13:00~17:00

会場 大学会館と国際交流会館交流ホール

- ① 着付け教室(国際交流会館2号館交流ホール)
- ② 生け花(華道)教室(大学会館集会室B)
- ③ お茶教室(大学会館和室)/日本の伝統的遊び教室(大学会館大集会室)
- ④ 囲碁教室(大学会館集会室A)

### 第2部 国際交流の夕べ

日時 2018年12月7日(金)

第2部 18:00~20:00

会場 大学会館と国際交流会館交流ホール

「日本文化体験」では、留学生課の窓口を訪れる留学生に対して口頭で行事への参加を促してもらったが、実施直前まで応募者数が少なかったのが心配した。そこで実施日の2日前に、留学生課から留学生にお知らせメールを送信してもらった。

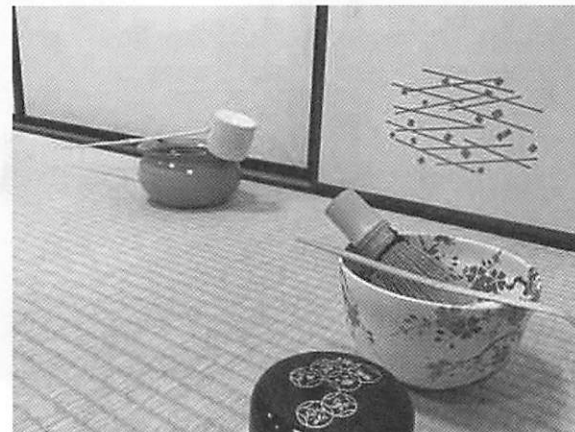
その結果、事前申し込みなしの参加者が多く来たことから、結果としてはどのイベントも盛況だった。

一番混んでいたのは着物体験。順番待ちの列ができた。着付けが終わると、大学内を嬉しそうに歩き、写真を撮り合う留学生の姿があちこちで見られた。

美しく装った留学生をキャンパス内で見かけたことから、当日着付けを申し込んだ参加者もたくさんいた。

「国際交流の夕べ」では、例年に比べて参加者数が少なかった。料理の量も例年より少なく感じられた。

(井上幹事長)





着付けが終わると学内を散歩↑



第2部 国際交流の夕べから

### 3-3 外語祭バザー

日時 2018年11月23日(金)～25日(日)

会場 研究講義棟2階226教室

作業者 留学生1名、幹事20名

毎年、春と秋のバザー出品のため、全国の留学生支援の会会員の皆様から多くの品々が届けられる。その多くは、留学生に格安で提供されているが、中には留学生の生活に合わない品もある。家族向けの品(土鍋、晩酌のセット、大皿等)や高級な品(茶器のセット、漆器、宝飾品、花瓶や壺、グラス等)、高品質だがデザインが若物向きでない衣料品などだ。それらの一部が国際交流会館2階の倉庫に保管されていた。

そこで、多くの方々の来場が見込める外語祭で、これらの品々を販売して、売上金を会の運営の一助とすること、またこの機会に、留学生支援の会の存在をもっと大学内外に知ってもらい、活動内容をアピールすることを目的として、バザーを開催した。昨年からはじめて、今回が2回目となる。

今回は華を添えるため、会員手作りのクリスマスリース、苔玉、樹脂粘土細工のリース、デコパージュ石鹸、クリスマス用マグカップのお菓子詰め等販売した。

また、在学生の親・家族へ支援の会の活動紹介を行い会に勧誘した。

前年もそうだったが、会場に指定された研究講義棟2階の226教室が、メインステージから遠い離れ小島のような部屋であった。

来場者の数が少なく残念だったものの、

売上 312,080 円(昨年 240,000 円)

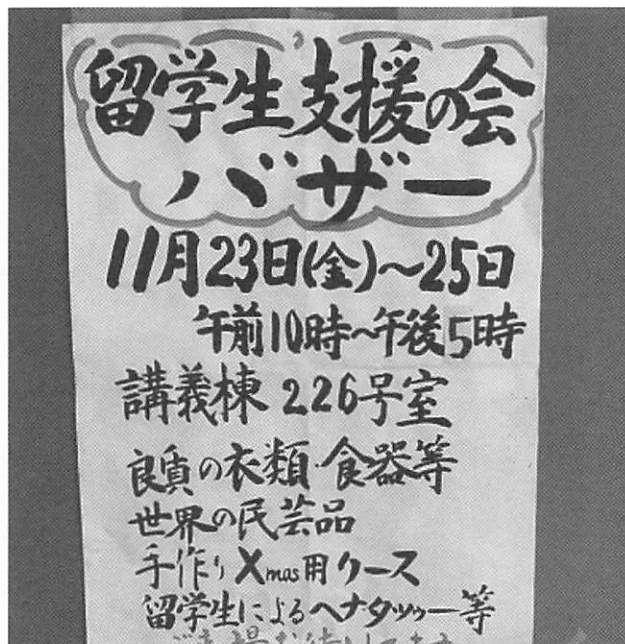
仕入れ 77,393 円(昨年 70,000 円)

収支 234,687 円(昨年 170,000 円)

と、前年より売上を向上できた。これは、商品量を確保できたことと、商品の品質が良い分それなりの値段をつけることができたからだと思う。

手探り状態で始めた昨年と違って、いろいろな問題が整理出来てきたので、それらを踏まえて来年に備えたい。

(井上・河野・小平幹事からの報告から抜粋)



# ACTIVITIES

## 4. これからの活動予定

3月19日(火)

古都鎌倉見学ツアー

開催日 3月19日(火)

募集 留学生 30名

コース 新宿駅西口小田急線地下改札手前集合  
→小田急線藤沢駅経由 江ノ電長谷駅へ  
→高德院チケット売り場前再集合(現地ガイドと合流) →長谷駅から鎌倉駅へ  
→鶴ヶ岡八幡参拝(ここまで一緒に行動)  
※昼食を含めて午後はグループ別行動

ご入会、ご寄付  
ご協力いただき、ありがとうございます

### 新規加入者

■一般会員(敬称略)

(平成30年10月21日～平成31年1月11日)

梅谷美知子 畑下稜 渡辺麻子

### 会員寄付者

■一般寄付(敬称略)

(平成30年10月21日～平成31年1月11日)

浅野尚文 伊藤真由美 鴻野初恵

滝沢侑也 頼母木久代 中村宏

野本京子 細谷功 矢部美保

山本弘之

※万一お名前に間違いがありましたらお詫びいたします。その節は、当会までお知らせくだされば幸いです。印刷できない外字等、ご了承ください。

1月11日現在  
会員数：1,280名

すべての活動は、皆様の年会費とご寄付で行われております。本年度会費を同封の振込用紙にてお振込みくださいます様、お願い申し上げます。

一般会員：年会費 3,000円

協賛会員：年会費 20,000円

♪ 年度末までのお願いです ♪

平成30年度会費納入のお願い  
3月29日(金)まで受付

次年度の活動をご支援いただくためにも、是非会費納入継続をお願い申し上げます。

納入をお忘れの方、納入率アップには是非ご協力ください。本年度会費を同封の振込用紙にてお振込みくださいます様、お願い申し上げます。

### 幹事会

下記のとおり幹事会を開催しました。

平成30年11月17日(土)

平成30年12月16日(日)

平成31年1月27日(日)

平成31年2月17日(日)

### お問い合わせ先

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学 留学生課気付 留学生支援の会  
TEL：042-330-5083 (午後)  
FAX：042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

©Copyright 2019, TUFSS International Student Support Association

TUFS 留学生支援の会 会報 | No. 60



## 春期バザー開催のお知らせとバザー用品ご寄付のお願い

開催：4月4日(木)～4月5日(金) ※2日目の5日は日本人学生も歓迎します

場所：国際交流会館2号館交流ホール

留学生に毎回大好評の春期(4月期)バザーの開催に向けて、受付期間をご確認の上、バザー用品のご準備、ご手配をお願いを申し上げます。

### バザー用品受付期間

3月25日(月)～3月31日(日)

### お送りいただきたい物品

- 各種辞書類
- 台所用品(小型の鍋、フライパン、電気炊飯器、レンジ、トースターなど)
- 日常生活用品(自転車、鏡、タオル、毛布、布団、食器、衣類、電気製品(一人で持ち運び可能なもの)、保存のきく食品など)

※一人で持ち運びが不可能な大型電気製品については、電話で事前にご連絡をお願いします。

※衣類や布ものは、新品同様またクリーニング済のもの、できれば若い学生向きの春・夏物を希望します。

- 国際交流事業の一環としての「着物・着付け」用男性羽織・袴一式、振袖、帯など

※古着可、ただし使用可能なもの

### 送付先

東京外国語大学 留学生課気付 留学生支援の会  
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
TEL:042-330-5083

### 送料

宅配便等で品物をお送りいただく場合には、恐れ入りますが、送料のご負担をお願いいたします。お手数ですが「午後便」をご指定ください。

## JOIN FOR BAZAAR!

※バザー用品の搬入に関する事等お問い合わせ、当日のお手伝い・参加可能な方のお申し出は事前にご電話下さい。

東京外国語大学 留学生支援の会  
TEL:042-330-5083(午後)

## WE NEED YOUR HELP!

お願い：バザーの人手が足りません！皆様のご協力をお願いします！

バザー用品の物品仕分けや、事前準備・後片付けをするご協力をお待ちします。